

戦死証明書

一 本籍地

一 所属部隊 地名 番号 階級 陸軍少佐

一 留所 姓名 理住所 氏名

一 戦死時状況 戦死場所 年 月 日 時間

一 戦死場所 北島ハシ島南端ルンデッボソ島原地 近海 戦死番号 高士 謙吉

一 戦死年月日時 昭和二十一年六月一日 十八時半頃 (推定)

一 戦死状況 昭和二十一年五月以前 戦死の病状 (ラッパ) 養生と三月以前の食糧不足 並に

養生と三月以前 戦死の病状 (ラッパ) 養生と三月以前の食糧不足 並に

石現認ス 九分の一 戦死の病状 (ラッパ) 養生と三月以前の食糧不足 並に

人々 戦死の病状 (ラッパ) 養生と三月以前の食糧不足 並に

一 当時戦死若ト関係

戦友 (同隊) 埋葬所

6-12

82



死亡現 認 明 書		死亡者 所屬部隊 及 役年	役年 得稱兵種	官 等	氏 名	死 亡 區 分	死 亡 年 月 日 時 分	死 亡 事 由 名 氏	死 亡 本 當 者 姓 名	右 現 認 明 書
同有名 一五甲附屬歩兵第一大隊本部		通稱 勅矢団	役年	死亡前 一等兵	死亡前 一等兵	戰病死	昭和二十年六月	赤痢 マウリヤ併発 死	守	昭和二十二年四月三十日
役 種		部 隊	兵 種	死 亡 後	死 亡 後	死 亡 場 所	時 間	確 度	元 所 屬 部 隊	元 官 等
歩兵		歩兵第一大隊本部	歩兵	一等兵	一等兵	オオニ作	月 日	月 日	部 隊	部 隊
併 合		併 合	併 合	併 合	併 合	併 合	併 合	併 合	併 合	併 合

16-13

1082

現認證明書

本籍地

現住所

所屬部隊

官氏名

陸軍

死亡場所

死亡區分

死亡日時

死亡傷(病)名

留守擔當者住所

右證明する

昭和二十二年三月五日

現認者住所

元所屬官氏名

威一五三一部隊隊長

(L)

6-11

戦歿者確認(證明)書

一、死者所属部隊名(通稱等) 成軍第一〇二隊 不詳

一、戦年 昭和二年 夜間 捕虜 兵 兵

一、官位(死後) 一等兵 (死後)

一、氏名 [Redacted] 日生

一、死後場所 [Redacted]

一、死亡区分(事由) エラ東方の山に於て

一、死後年月日時 昭和二年 一月 一日 不詳

一、死後者本籍地留守遺族者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和 年 月 日

元所属部隊名 成軍第一〇二隊

現住所 [Redacted]

元官位 陸軍少長

氏名 印 [Redacted]

註 死亡事由、場所ハナルベクワシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲ
タツシク告知ラセ下サイ

施 先 [Redacted]

地方世話部慰恤係

11

[illegible]

受	山北港	昭和十九年九月三十一日
着	外北港	昭和十九年九月三十一日

略
主惠作樂
則聞歌其時
金
月个
我
荷

元亡後
國號
元將
元將

論經子入緯

官署改為印陸軍少尉

寶箴堂印

現認證明書

39-10

本籍地

現住所

氏名

所屬部隊

官等級

徵集後経過

死亡年月日

死亡場所

死亡区分

死亡事由

現認事

全

陸軍第一師隊

陸軍少佐

昭和二十年六月一日

信濃縣

戦死

昭和二十年六月一日

信濃縣

昭和二十年六月一日

遺骨の有無

遺族現住所続柄氏名

右相違

現認者官等級

陸軍少佐

昭和二十年六月一日

死亡現認書				昭和	年	月	日
死者	本籍地	[REDACTED]					
	現住所	右 全					
	所属部隊名	第八師團野砲第六聯隊 (威四七三八部隊)					
	官職、級氏名	陸軍 少尉見習士官 [REDACTED]					
	死亡年月日時	昭和二十年六月 [REDACTED] (確度 甲)					
	死亡場所	比島 イホ (ミラ東北交) (確度 甲)					
死亡要分	戦死	死亡事由	砲撃破砕中創				
戦況、遺留品の	なし						

右 現 認 す

現認者 本籍地 [REDACTED]
現住所 [REDACTED]

死没者との関係 同期生

所属部隊 第八師團野砲第六聯隊 (威四七三八部隊)

元職官氏名印 陸軍少尉 [REDACTED]

記載上の注意

1. 階級は甲(確度)、乙(概ね確度)、丙(疑はしきもの)の区分で記入する
2. 死亡事由には何々貫通銃創、或は「ラリア」「ケブス」等の病名を記入する
3. 死没者との関係は中、小隊長、分隊長、戦友等記入する

11-8

陸殺氏名印

死亡証明書

本籍地		[Redacted]	
所属部隊固有名		羽衣	
徴集年 (生年)	役	通稱	第九一四部隊
昭和十八年	現役	死亡前官等 (昭和十八年)	少佐
昭和十八年	現役	死亡前官等 (昭和十八年)	少佐
保衛	任	所	[Redacted]
機務	補	比	[Redacted]
死亡年	昭和二十年	死亡月	九月
死亡日	九月	死亡時	午後
死亡場所	[Redacted]		
死亡原因	[Redacted]		
死亡診断書	[Redacted]		
死亡の要否	不明		
死状	別紙証明書に記す		

12-13

右の通り相違なきことを証明する。

昭和 年 月 日

本籍地

(現住所)

元所属部隊

階級氏名印

通書明証紙

戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所属部隊名(通稱) 或美四六〇七部隊 (七八兵站部)
- 一、徴集年 昭和十八年 役種 歩兵 兵種 歩兵
- 一、官等(死歿前) 二等兵(死歿後)
- 一、氏名 [Redacted]
- 一、死歿場所 比島 [Redacted] 大日山附近
- 一、死亡區分 事由 昭和十八年三月二十日 東条大樹中尉同年五月五日戦死
- 一、死歿年月日時 昭和十八年六月一日 日不詳 時 [Redacted]
- 一、死歿者本籍地留付場所 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和十八年三月六日

元所属部隊名 或美四六〇七部隊

現住所 [Redacted]

元官等 陸軍少佐

氏名 印 [Redacted]

註 死亡理由、場所ハナルベククシテ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナシタ者ハソノ前後ヲクワシテ知ラセ下サイ

宛先 [Redacted]

地方世話部慰恤係

氏名	職階	死因	死因	保身	保身	保身

本籍地	所屬部隊	固有姓名	通稱	昭和 民生部 第一 世話課	人		遺骨、遺留品の有無	遺族承認の有無	備考
					死亡年月日時	死亡區分			
昭和20年6月3日午後	昭和20年5月29日	昭和20年5月29日	昭和20年5月29日	昭和20年5月29日	昭和20年5月29日	昭和20年5月29日	昭和20年5月29日	昭和20年5月29日	昭和20年5月29日
昭和20年12月3日	昭和20年12月3日	昭和20年12月3日	昭和20年12月3日	昭和20年12月3日	昭和20年12月3日	昭和20年12月3日	昭和20年12月3日	昭和20年12月3日	昭和20年12月3日
昭和20年12月3日	昭和20年12月3日	昭和20年12月3日	昭和20年12月3日	昭和20年12月3日	昭和20年12月3日	昭和20年12月3日	昭和20年12月3日	昭和20年12月3日	昭和20年12月3日

死亡者現認證明書

昭和20年12月3日

地方世

大川納

戰死證明書

一、戰死者本籍地

戶主名續柄

貝州

味知

45

月

四、

二、所屬 通稱有部隊名
十師團 派遣 第五師團 第四師團 第三師團 第二師團 第一師團

三、戰死者徵集年四十八年役種稅役兵種步兵死亡前官等級陸軍上

四、戰死年月日時刻及場所

五、戰死現認ノ程度

六、遺骨歸還，有，無

七、戰死當時，狀況，概要

人 死 亡 區 分 數 死 事 由 診 察 發 病 年 月 日 昭 和 年 月 日

九、其ノ他、(上議院ニ於テ死シ者ノ遺言ニ依リテ立立、部政務總理、申立濟ナレバ上陸年月及上陸地

10. 遺族、現住所

戰死者ト、骸骨 父

出 如

右ノ通り戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二年

證明者住所

戰死者上ノ關係

所屬部隊名

兵種 步兵 騎兵 砲兵 工兵 輾重兵 通信兵 衛生兵 政治工作兵 其他

氏名

市町村長暨明簡所

五、發明書之序、第一項、第二項、第三項、第四項、第五項、第六項、第七項、第八項、第九項、第十項、

2. 海難救助

服藥於本月二日

右
現
認
ス

死 死 死 死
七 七 七 七
年 年 年 年
月 月 月 月
日 日 日 日

本籍地

都 保 名 之 三 派 定 戸

本籍地

現 認

戸 口

昭和二十一年 五月 四 日 改

北 都 ル ソ ン 島 バ レ テ 峠

戦 死

本籍地

都 保 名 馬 尼 利 隆 家 航 空 廠 新 都

本籍地 現 認

死亡現認證明書

死	亡	傷	遺骨・遺品・状況	現認	認	省
所属部隊名	死亡年月日	傷病名	遺骨・遺品・状況	現認事由	所属部隊名	現住所
官軍級氏名	死亡区分			證明年月日	官等級氏名	
本籍地						
昭和二十年六月四日 午前六時十分頃	戦死	大腸炎	アリタ野戦病院に同伴死す	アリタ野戦病院に同伴死す	陸軍伍長	
				中隊長の依頼により通知す		
				右の通り證明する		
				昭和二十二年二月十一日		

本證明書は三部份を製する。死亡者官等・級は死亡當時の階級を記載し、死亡後進級の判明せる時はその階級をも記載する。現認事由は陸軍と詳細に記載する。死亡区分は戦死・戦傷死・戦病死・不慮死・公病死・病死・自殺・他原因死等がある。

昭和二十二年二月十一日

陸軍部

死亡後兵長

印

69-10

事實證明頭記書

本籍地

所屬隊

(通稱名)

役種徵集所現任職務 昭和十八年徵集

官氏名 陸軍兵科見習士官

右者

自昭和 年 月 日 至昭和 年 月 日 日間

昭和二十年 五月 廿日 比島北郷ニ於テ多シキ傷ヲ受ケテ罹病シ

昭和二十年 六月 廿日 比島北郷ニ於テ戰病死シタル事

證明頭記書

昭和二十年 一月 廿日

調製官

陸軍少計小尉

1-10

姓名	昭六	予備	歩上	等兵
生年月日	明治	予備	歩上	等兵
死亡年月日	明治	予備	歩上	等兵
死亡場所	比島ルン島	タナイ		
死亡原因	戦死			
遺体	遺体			
遺品	遺品			
備考	備考			

10

平
民
可
也

100

上
記
場
所
日
時
於
之
新
機
車
之
運
轉

此書雖在江寧，
確認書。

五下

171

0

76

李
李
李
李
李

臨明在法錄卷之三

司



戰死證明書

一、戰死者本籍地

戶主名續柄

戶主

氏名

長男

年 月 日生

二、所屬

固有部隊名
通稱部隊號

比島

派遣

威第一五三二部隊

再尼刺航空廠

三、戰死者徵集年

昭和十七年

役種現役

兵種

死亡前官等級

陸軍

年月日

昭和十七年三月一日

四、戰死年月日時刻及場所

昭和十七年六月五日

時刻

不明

多市南

多市南

多市南

多市南

多市南

多市南

五、戰死現認ノ程度

白骨見

白骨見

白骨見

白骨見

白骨見

白骨見

白骨見

白骨見

白骨見

六、遺骨歸還ノ有無

有

有

有

有

有

有

有

有

有

有

七、戰死當時ノ狀況ノ概要

斬込隊

參加

歸途

敵陣

敵陣

敵陣

敵陣

敵陣

敵陣

敵陣

8-12

九、其ノ他（昭和二十二年六月二十日）市町村長證明簡所

三、遺族ノ現住所

戦死者トノ續柄 父

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和廿二年六月七日

證明者住所

戦死者トノ關係

所屬部隊名

馬尼刺航空廠

兵種

官等級 陸軍 技術兵 曹長

氏名

印

市町村長證明簡所

右第一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、項ニ相違無キコトヲ證明ス

昭和二十二年六月二十日

8-12

軍功證明書

症ノ者ハ「ミシタナ」島ニテ戰鬥中部隊行進不可能トナ
リ以後續行中「ミラワイ」所約東南十五料地ニテ
米軍ト戰鬥中胸部貫通ヲ受ケ昭和二十年五月五
日午後一時三十分頃死去セラレタル事ヲ証明ス

昭和二十一年十一月三十日

威第一七六。一部隊

陸軍上等兵

復員後 鉄道従業員

考 現 の	現 在 所	死 亡 考 の 部 隊	部 隊 名	個 人 名	建 勤 三 上
			通 用 番 号	四 八 三 九	
考 現 の 者 の 死 亡	死 亡 考 の 部 隊	部 隊 名	個 人 名	建 勤 三 上	四 八 三 九
	死 亡 考 の 部 隊	部 隊 名	個 人 名	建 勤 三 上	四 八 三 九
	死 亡 考 の 部 隊	部 隊 名	個 人 名	建 勤 三 上	四 八 三 九
	死 亡 考 の 部 隊	部 隊 名	個 人 名	建 勤 三 上	四 八 三 九
	死 亡 考 の 部 隊	部 隊 名	個 人 名	建 勤 三 上	四 八 三 九
	死 亡 考 の 部 隊	部 隊 名	個 人 名	建 勤 三 上	四 八 三 九
	死 亡 考 の 部 隊	部 隊 名	個 人 名	建 勤 三 上	四 八 三 九
	死 亡 考 の 部 隊	部 隊 名	個 人 名	建 勤 三 上	四 八 三 九
	死 亡 考 の 部 隊	部 隊 名	個 人 名	建 勤 三 上	四 八 三 九
	死 亡 考 の 部 隊	部 隊 名	個 人 名	建 勤 三 上	四 八 三 九

97-11

///

戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所属部隊名(通稱) 陸軍第一〇五師団
- 一、戦年 昭和二十年 後 兵隊
- 一、官等(死歿前) 兵隊 (死歿後)
- 一、氏名 [Redacted] 年 [Redacted] 月 [Redacted] 日生
- 一、死歿場所 [Redacted]
- 一、死亡区分(事由) [Redacted]
- 一、死歿年月日時 昭和二十年 月 日 時
- 一、死歿者本籍地留守擔當者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和二十年一月十五日

元所属部隊名 [Redacted]
現住所 [Redacted]
元官等職 [Redacted]
氏名印 [Redacted]

註 死亡事由、場所ハナルベクツシク特ニ終戦後ノ死亡ニ明細ニ生死不明ニナシテ者ハソノ前後ヲ
ツシク告知ラセ下サイ

宛先

地方世話部慰恤係

戦死者確認(證明)書

一、死没者所屬部隊名(通稱號)

第八師団通信隊(杉蔵部四七五部隊)

二、徵集年

役種

兵種

三、官 等(死没前)

一等兵(死没後) 兵長

四、氏 名

死没場所

死亡區分號之理由

五、死没年月日時

昭和二十年六月五日

六、死没者本籍地留守担当者

右確認(證明)書

昭和二十年

八月

日

元所屬部隊

現住所

元官等級

氏名印

(註)死亡理由、場所ハケルベク、ワシタ特ニ終戦後ノ死亡、開戦ニ、生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲワシタチ知ラセテ下さい

宛先

地方世話部認定係

18-10

昭和20.3.31
23

現狀證明書

本籍地	[Redacted]
所属部隊	第51軍司令部 第三十六大隊
官階	陸軍 一兵 (天乙)
受傷場所	不明 (山形県内)
受傷年月日	不明
受傷原因	砲撃被害
死傷場所	山形県内 山形市 山形市立病院
死傷区分	戦死
死年月日	昭和二十年一月五日

摘出要旨 [Redacted] (遺体発見)

現狀 昭和二十年四月四日

署名 現世 [Redacted]

所属部隊 第51軍司令部 第三十六大隊
陸軍 兵長 [Redacted]

死	亡	者	現	認	者
所屬部隊名	戰車第三師團機動步兵第二聯隊	官等級氏名	陸軍兵長	所屬部隊名	戰車第三師團機動步兵第二聯隊
本籍地		官等級氏名	陸軍軍曹	所屬部隊名	戰車第三師團機動步兵第二聯隊
死亡年月日	昭和二十年六月五日	官等級氏名		所屬部隊名	戰車第三師團機動步兵第二聯隊
死亡口分	戰死	官等級氏名		所屬部隊名	戰車第三師團機動步兵第二聯隊
死亡場所	中部ルンニ島サササ峠東北四〇〇地点	官等級氏名		所屬部隊名	戰車第三師團機動步兵第二聯隊
傷病名	砲彈破片瘡	官等級氏名		所屬部隊名	戰車第三師團機動步兵第二聯隊
遺骨遺物品の状況	なし	官等級氏名		所屬部隊名	戰車第三師團機動步兵第二聯隊
現認事由		官等級氏名		所屬部隊名	戰車第三師團機動步兵第二聯隊
審判年月日		官等級氏名		所屬部隊名	戰車第三師團機動步兵第二聯隊

五

○本注を以て、シ外は第一、世に記入すること
○記の注意並に、履にあり、記上の注意をよく讀んでから記入の事
○不の項中判明しあるものは各班にて朱書すること

死に確証記

一部隊名 独立有線第一二三中隊

一官軍官名

一本籍

一死之日時

昭和二十一年六月六日

一死の場所

比島ルン島ノミズラ洲 カバツラニ

一死の事由

海河際松銃掃射大なる

一連不意

一區分

戦死

右方側する

昭和二十二年三月二十二日

28-14

1607
本收

所屬部隊 固有名木自中國至日本 通稱名 駿才。各部隊

官等級(昭和)年 月 日發金(氏名)

姓名(會) 年 月

二、死亡區分及備註名 錢 永 記 陸 破 產 翁

四、死亡狀況 由衛生局轉發各分區之調查表並由區公所

記(二) 庫(一) 或(一) 火(一)

北信處置(狀況)

子 弟 之 間 亦 有 不 同 之 理 也

昭和二十七年四月十七日 元所閣部除(関有者) 重三少司馬印

(通稱名) 駿太 (Tenryō)

伍職官等氏名

100

1997, 1998, 1999, 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025, 2026, 2027, 2028, 2029, 2030, 2031, 2032, 2033, 2034, 2035, 2036, 2037, 2038, 2039, 2040, 2041, 2042, 2043, 2044, 2045, 2046, 2047, 2048, 2049, 2050, 2051, 2052, 2053, 2054, 2055, 2056, 2057, 2058, 2059, 2060, 2061, 2062, 2063, 2064, 2065, 2066, 2067, 2068, 2069, 2070, 2071, 2072, 2073, 2074, 2075, 2076, 2077, 2078, 2079, 2080, 2081, 2082, 2083, 2084, 2085, 2086, 2087, 2088, 2089, 2090, 2091, 2092, 2093, 2094, 2095, 2096, 2097, 2098, 2099, 2100, 2101, 2102, 2103, 2104, 2105, 2106, 2107, 2108, 2109, 2110, 2111, 2112, 2113, 2114, 2115, 2116, 2117, 2118, 2119, 2120, 2121, 2122, 2123, 2124, 2125, 2126, 2127, 2128, 2129, 2130, 2131, 2132, 2133, 2134, 2135, 2136, 2137, 2138, 2139, 2140, 2141, 2142, 2143, 2144, 2145, 2146, 2147, 2148, 2149, 2150, 2151, 2152, 2153, 2154, 2155, 2156, 2157, 2158, 2159, 2160, 2161, 2162, 2163, 2164, 2165, 2166, 2167, 2168, 2169, 2170, 2171, 2172, 2173, 2174, 2175, 2176, 2177, 2178, 2179, 2180, 2181, 2182, 2183, 2184, 2185, 2186, 2187, 2188, 2189, 2190, 2191, 2192, 2193, 2194, 2195, 2196, 2197, 2198, 2199, 2200, 2201, 2202, 2203, 2204, 2205, 2206, 2207, 2208, 2209, 2210, 2211, 2212, 2213, 2214, 2215, 2216, 2217, 2218, 2219, 2220, 2221, 2222, 2223, 2224, 2225, 2226, 2227, 2228, 2229, 2230, 2231, 2232, 2233, 2234, 2235, 2236, 2237, 2238, 2239, 2240, 2241, 2242, 2243, 2244, 2245, 2246, 2247, 2248, 2249, 2250, 2251, 2252, 2253, 2254, 2255, 2256, 2257, 2258, 2259, 2260, 2261, 2262, 2263, 2264, 2265, 2266, 2267, 2268, 2269, 2270, 2271, 2272, 2273, 2274, 2275, 2276, 2277, 2278, 2279, 2280, 2281, 2282, 2283, 2284, 2285, 2286, 2287, 2288, 2289, 2290, 2291, 2292, 2293, 2294, 2295, 2296, 2297, 2298, 2299, 2300, 2301, 2302, 2303, 2304, 2305, 2306, 2307, 2308, 2309, 2310, 2311, 2312, 2313, 2314, 2315, 2316, 2317, 2318, 2319, 2320, 2321, 2322, 2323, 2324, 2325, 2326, 2327, 2328, 2329, 2330, 2331, 2332, 2333, 2334, 2335, 2336, 2337, 2338, 2339, 2340, 2341, 2342, 2343, 2344, 2345, 2346, 2347, 2348, 2349, 2350, 2351, 2352, 2353, 2354, 2355, 2356, 2357, 2358, 2359, 2360, 2361, 2362, 2363, 2364, 2365, 2366, 2367, 2368, 2369, 2370, 2371, 2372, 2373, 2374, 2375, 2376, 2377, 2378, 2379, 2380, 2381, 2382, 2383, 2384, 2385, 2386, 2387, 2388, 2389, 2390, 2391, 2392, 2393, 2394, 2395, 2396, 2397, 2398, 2399, 2400, 2401, 2402, 2403, 2404, 2405, 2406, 2407, 2408, 2409, 2410, 2411, 2412, 2413, 2414, 2415, 2416, 2417, 2418, 2419, 2420, 2421, 2422, 2423, 2424, 2425, 2426, 2427, 2428, 2429, 2430, 2431, 2432, 2433, 2434, 2435, 2436, 2437, 2438, 2439, 2440, 2441, 2442, 2443, 2444, 2445, 2446, 2447, 2448, 2449, 2450, 2451, 2452, 2453, 2454, 2455, 2456, 2457, 2458, 2459, 2460, 2461, 2462, 2463, 2464, 2465, 2466, 2467, 2468, 2469, 2470, 2471, 2472, 2473, 2474, 2475, 2476, 2477, 2478, 2479, 2480, 2481, 2482, 2483, 2484, 2485, 2486, 2487, 2488, 2489, 2490, 2491, 2492, 2493, 2494, 2495, 2496, 2497, 2498, 2499, 2500, 2501, 2502, 2503, 2504, 2505, 2506, 2507, 2508, 2509, 2510, 2511, 2512, 2513, 2514, 2515, 2516, 2517, 2518, 2519, 2520, 2521, 2522, 2523, 2524, 2525, 2526, 2527, 2528, 2529, 2530, 2531, 2532, 2533, 2534, 2535, 2536, 2537, 2538, 2539, 2540, 2541, 2542, 2543, 2544, 2545, 2546, 2547, 2548, 2549, 2550, 2551, 2552, 2553, 2554, 2555, 2556, 2557, 2558, 2559, 2560, 2561, 2562, 2563, 2564, 2565, 2566, 2567, 2568, 2569, 2570, 2571, 2572, 2573, 2574, 2575, 2576, 2577, 2578, 2579, 2580, 2581, 2582, 2583, 2584, 2585, 2586, 2587, 2588, 2589, 2590, 2591, 2592, 2593, 2594, 2595, 2596, 2597, 2598, 2599, 2600, 2601, 2602, 2603, 2604, 2605, 2606, 2607, 2608, 2609, 2610, 2611, 2612, 2613, 2614, 2615, 2616, 2617, 2618, 2619, 2620, 2621, 2622, 2623, 2624, 2625, 2626, 2627, 2628, 2629, 2630, 2631, 2632, 2633, 2634, 2635, 2636, 2637, 2638, 2639, 2640, 2641, 2642, 2643, 2644, 2645, 2646, 2647, 2648, 2649, 2650, 2651, 2652, 2653, 2654, 2655, 2656, 2657, 2658, 2659, 2660, 2661, 2662, 2663, 2664, 2665, 2666, 2667, 2668, 2669, 2670, 2671, 2672, 2673, 2674, 2675, 2676, 2677, 2678, 26

...and the

昭和十一年三月一日

11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100. 101. 102. 103. 104. 105. 106. 107. 108. 109. 110. 111. 112. 113. 114. 115. 116. 117. 118. 119. 120. 121. 122. 123. 124. 125. 126. 127. 128. 129. 130. 131. 132. 133. 134. 135. 136. 137. 138. 139. 140. 141. 142. 143. 144. 145. 146. 147. 148. 149. 150. 151. 152. 153. 154. 155. 156. 157. 158. 159. 160. 161. 162. 163. 164. 165. 166. 167. 168. 169. 170. 171. 172. 173. 174. 175. 176. 177. 178. 179. 180. 181. 182. 183. 184. 185. 186. 187. 188. 189. 190. 191. 192. 193. 194. 195. 196. 197. 198. 199. 200. 201. 202. 203. 204. 205. 206. 207. 208. 209. 210. 211. 212. 213. 214. 215. 216. 217. 218. 219. 220. 221. 222. 223. 224. 225. 226. 227. 228. 229. 230. 231. 232. 233. 234. 235. 236. 237. 238. 239. 240. 241. 242. 243. 244. 245. 246. 247. 248. 249. 250. 251. 252. 253. 254. 255. 256. 257. 258. 259. 260. 261. 262. 263. 264. 265. 266. 267. 268. 269. 270. 271. 272. 273. 274. 275. 276. 277. 278. 279. 280. 281. 282. 283. 284. 285. 286. 287. 288. 289. 290. 291. 292. 293. 294. 295. 296. 297. 298. 299. 300. 301. 302. 303. 304. 305. 306. 307. 308. 309. 310. 311. 312. 313. 314. 315. 316. 317. 318. 319. 320. 321. 322. 323. 324. 325. 326. 327. 328. 329. 330. 331. 332. 333. 334. 335. 336. 337. 338. 339. 340. 341. 342. 343. 344. 345. 346. 347. 348. 349. 350. 351. 352. 353. 354. 355. 356. 357. 358. 359. 360. 361. 362. 363. 364. 365. 366. 367. 368. 369. 370. 371. 372. 373. 374. 375. 376. 377. 378. 379. 380. 381. 382. 383. 384. 385. 386. 387. 388. 389. 390. 391. 392. 393. 394. 395. 396. 397. 398. 399. 400. 401. 402. 403. 404. 405. 406. 407. 408. 409. 410. 411. 412. 413. 414. 415. 416. 417. 418. 419. 420. 421. 422. 423. 424. 425. 426. 427. 428. 429. 430. 431. 432. 433. 434. 435. 436. 437. 438. 439. 440. 441. 442. 443. 444. 445. 446. 447. 448. 449. 450. 451. 452. 453. 454. 455. 456. 457. 458. 459. 460. 461. 462. 463. 464. 465. 466. 467. 468. 469. 470. 471. 472. 473. 474. 475. 476. 477. 478. 479. 480. 481. 482. 483. 484. 485. 486. 487. 488. 489. 490. 491. 492. 493. 494. 495. 496. 497. 498. 499. 500. 501. 502. 503. 504. 505. 506. 507. 508. 509. 510. 511. 512. 513. 514. 515. 516. 517. 518. 519. 520. 521. 522. 523. 524. 525. 526. 527. 528. 529. 530. 531. 532. 533. 534. 535. 536. 537. 538. 539. 540. 541. 542. 543. 544. 545. 546. 547. 548. 549. 550. 551. 552. 553. 554. 555. 556. 557. 558. 559. 560. 561. 562. 563. 564. 565. 566. 567. 568. 569. 570. 571. 572. 573. 574. 575. 576. 577. 578. 579. 580. 581. 582. 583. 584. 585. 586. 587. 588. 589. 590. 591. 592. 593. 594. 595. 596. 597. 598. 599. 600. 601. 602. 603. 604. 605. 606. 607. 608. 609. 610. 611. 612. 613. 614. 615. 616. 617. 618. 619. 620. 621. 622. 623. 624. 625. 626. 627. 628. 629. 630. 631. 632. 633. 634. 635. 636. 637. 638. 639. 640. 641. 642. 643. 644. 645. 646. 647. 648. 649. 650. 651. 652. 653. 654. 655. 656. 657. 658. 659. 660. 661. 662. 663. 664. 665. 666. 667. 668. 669. 670. 671. 672. 673. 674. 675. 676. 677. 678. 679. 680. 681. 682. 683. 684. 685. 686. 687. 688. 689. 690. 691. 692. 693. 694. 695. 696. 697. 698. 699. 700. 701. 702. 703. 704. 705. 706. 707. 708. 709. 710. 711. 712. 713. 714. 715. 716. 717. 718. 719. 720. 721. 722. 723. 724. 725. 726. 727. 728. 729. 730. 731. 732. 733. 734. 735. 736. 737. 738. 739. 740. 741. 742. 743. 744. 745. 746. 747. 748. 749. 750. 751. 752. 753. 754. 755. 756. 757. 758. 759. 760. 761. 762. 763. 764. 765. 766. 767. 768. 769. 770. 771. 772. 773. 774. 775. 776. 777. 778. 779. 780. 781. 782. 783. 784. 785. 786. 787. 788. 789. 790. 791. 792. 793. 794. 795. 796. 797. 798. 799. 800. 801. 802. 803. 804. 805. 806. 807. 808. 809. 810. 811. 812. 813. 814. 815. 816. 817. 818. 819. 820. 821. 822. 823. 824. 825. 826. 827. 828. 829. 830. 831. 832. 833. 834. 835. 836. 837. 838. 839. 840. 841. 842. 843. 844. 845. 846. 847

送

8

町市長

徵集年
役種
規役
兵種
步兵

年
月
日

氏名

死後場所
ギンカン
平方
山
カ
山
附
山

死亡區分並二事由故白雷砲彈破片等致主死

死歿年月日時
昭和二年六月六日

一、死者本籍地留守擔當者

昭和五年四月六日

元所擬部隊

現
住
所

元官部
陸軍兵長

氏
名
印

〔註〕 死亡事出、場所ハナルベク、ワシク、特ニ務、隨後ノ死亡ハ明細ニナツタ者ハソノ前、後、ワシク、知フベク、イ

地方世話部認定係

現認證明書

本籍地

現住所

同右

所屬部隊名

獨立歩兵第八十二旅團作業隊

陸軍上等兵

死亡年月日

昭和三年六月六日

死亡場所

比島(ルソニ島)イ木村

死亡状況

昭和三年五月十日ルソニ島イ木村附近、战斗中米軍ノ

白撃砲彈ニ依リ負傷ス、野戦病院ニ收容于高中ノ所

昭和三年六月六日戦傷死セリ

右現認ス

昭和三年九月二十七日

現認者

元兵長

(陸軍)

戰歿者履歴(證明)書

一 死歿所屬部隊番号(通稱) 戦艦三二部隊

一 徵集年役種、兵種 昭和十八年 補充兵隊 技師

一 官署(死歿前) 兵務部 (死歿後) 兵務部

一 氏名 田中 重雄 (不詳)

一 死歿場所 比島 (バレンシア西方約四十海里) 是

一 死亡區介並事由 戰歿 食糧不足、疲勞困憊、抵抗力衰弱、

一 死歿年月日時間 昭和十八年七月七日

一 死歿者本籍地 留守垣當番

右履歴(證明)書

昭和十八年七月一日

註 死歿事由(場所)ハ、バレンシア西方約四十海里ニ於テ、食糧不足、疲勞困憊、抵抗力衰弱、

明瞭ニ示シテ、

死歿者本籍地 留守垣當番

兵務部

卷之四

明治三十二年八月十八日
 所屬部 隊
 死之者との關係 友人
 したことを證明する
 明治三十二年八月十八日
 所屬部 隊
 死之者との關係 友人
 したことを證明する

8-12

[illegible]

田邊 二 前 忠 三

資江各
縣官廳
各用
明
市
三
年
月
日
紫
行
印

| | | |
|--------|-----|---------|
| 列在王兵中 | ルノ島 | 青森新東津並君 |
| 王册防中事防 | ハノ島 | 本籍大上同 |
| 20.3.1 | 戦死 | 出所 |
| 20.3.1 | 野下 | 清淵 |

20.6.72
 モンソンの島
 有リ
 山崩

考
參
（例）昭和九年七月滿洲國成立時、
千前十勝鐵道、
米島野鐵病院に收容せられた昭和九年五月千前十勝十分死七十一死体區醫官俣野

和十九年九月五日弘治帝崩。子九節王入南。同年十月四日甲午。無事卒。

同日。車馬七院同月九日内河港。建同早十一月三月朔。北サイルラド。下港。

同月十日。夏当地小差威王來。抄種。向世行軍途中。期月不明。テスカカマ。

防工司令。社屈同早十二月二日。地二千滿洲。リカ野絶成。

萬成國。同年三月。埃比里。毛之。同八。タヤ山高地。地更換同早文。明蓋。

後戰。同中。石。廣。有貴道。創。是。有六百頃。戦死セリ。死休。中。依。三。碑。葬。祀セリ。

現認有所屬部隊
現任所
同
官署
上兵

○印欄の記載より下す、尚羅翹資料欄係出来得る限り詳細に記入し、
痛みの場合、何發病年月日、病名、入院場所、主明瞭に記述して下さい、

死亡事實(現認)證明書

本籍地

現住所

所屬部隊

独立混成旅団 旅団司令部

召集年

昭和二十一年

氏名

官等級 一等兵

右ノ者昭和二十一年八月七日 時

分ルノ新ニ於テ戦死シテ戦傷

病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和二十一年八月七日

所屬部隊

職名

独立混成旅団 旅団司令部

官等級

一等兵

氏名

注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シタルモノハ詳記ス

二、職名ハ中、小隊長、砲手、操縦手等ト詳記ス

10-11

死亡事實證明書

| | | | | | | | | | | |
|-------------|-------------|---|-----------------------|----------------------------|---|---|---|-------------|----------------------------|-------------|
| 不
籍
地 | 現
任
所 | 所
屬
部
隊 | 死
亡
前
階
級 | 留
守
部
隊
名
稱 | 名
稱 | 石
條
認
一
（
證
明
）
ス | 昭
和
二
二
年
一
月
七
日 | 現
任
所 | 部
隊
名 | 職
氏
名 |
| | 右
同 | 第一師團獨立隊中隊 | 死亡後階級 | 佐
補 | 右
者
昭
和
二
十
年
九
月
首
南
ル
ッ
ラ
ン
グ
橋
梁
附
近
戦
斗
上
連
絡
二
行
キ
戦
死
ス | | | | 威
一
〇
六
〇
九 | 班
長 |
| | | 通
稱
威
一
〇
六
〇
九
隊 | 氏
名 | 大
隊 | | | | | | 兵
長 |

511

公報

○本表中諸印の欄以外は第一世品牌にて記入すること
 ○記載上の注意並に原帳には裏面にありて記載上の注意をよく読んでから記入の事
 ○不備事項中判明しあるものは各班にて未備すること

| | | | | | | | |
|----------|------------|----------|------------|----------|------------|----------|------------|
| 長 | 係 | 課 | 定 | 部 | 公 | 課 | 課 |
| 昭和二十二年七月 | 死亡者調査表 | 昭和二十二年七月 | 死亡者調査表 | 昭和二十二年七月 | 死亡者調査表 | 昭和二十二年七月 | 死亡者調査表 |
| 所屬部隊 | 國府省警市街歩一六八 | 所屬部隊 | 國府省警市街歩一六八 | 所屬部隊 | 國府省警市街歩一六八 | 所屬部隊 | 國府省警市街歩一六八 |
| 年 | 現 | 年 | 現 | 年 | 現 | 年 | 現 |
| 本籍地 | 現 | 本籍地 | 現 | 本籍地 | 現 | 本籍地 | 現 |
| 留守現住所 | 現 | 留守現住所 | 現 | 留守現住所 | 現 | 留守現住所 | 現 |
| 遺言者 | 遺言者 | 遺言者 | 遺言者 | 遺言者 | 遺言者 | 遺言者 | 遺言者 |
| 死亡年月日時 | 22年6月7日 | 死亡年月日時 | 22年6月7日 | 死亡年月日時 | 22年6月7日 | 死亡年月日時 | 22年6月7日 |
| 死亡原因 | 戦死 | 死亡原因 | 戦死 | 死亡原因 | 戦死 | 死亡原因 | 戦死 |
| 死亡直前の状況 | 戦死 | 死亡直前の状況 | 戦死 | 死亡直前の状況 | 戦死 | 死亡直前の状況 | 戦死 |
| 遺言 | 戦死 | 遺言 | 戦死 | 遺言 | 戦死 | 遺言 | 戦死 |
| 右現認す | 現 | 右現認す | 現 | 右現認す | 現 | 右現認す | 現 |
| 現住所 | 現 | 現住所 | 現 | 現住所 | 現 | 現住所 | 現 |
| 現所屬部隊 | 現 | 現所屬部隊 | 現 | 現所屬部隊 | 現 | 現所屬部隊 | 現 |
| 署名 | 署名 | 署名 | 署名 | 署名 | 署名 | 署名 | 署名 |
| 氏名印 | 氏名印 | 氏名印 | 氏名印 | 氏名印 | 氏名印 | 氏名印 | 氏名印 |
| 官給 | 官給 | 官給 | 官給 | 官給 | 官給 | 官給 | 官給 |
| 等級 | 等級 | 等級 | 等級 | 等級 | 等級 | 等級 | 等級 |
| 未備遺品 | 有 | 未備遺品 | 有 | 未備遺品 | 有 | 未備遺品 | 有 |
| 無 | 無 | 無 | 無 | 無 | 無 | 無 | 無 |
| 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 47 | 47 | 47 | 47 | 47 | 47 | 47 | 47 |
| 公報 | 公報 | 公報 | 公報 | 公報 | 公報 | 公報 | 公報 |

昭和二十二年七月 死亡者調査表 昭和二十二年 7月 10日 調査

戰死證明書

一、戰死者本籍地

戸主名 戸主

氏名

年 月 日生

二、所屬部隊名

比島

派遣約

第...部隊

三、戰死者徵集年 市年 在 兵種 兵死亡前官等 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時及場所

五、戰死現認ノ程度

六、遺骨歸還ノ有無

七、戰死當時ノ状況ノ概要

八、死亡原因

九、其ノ他

二〇、遺族ノ現住所

戰死者ノ戸主

氏名

右ノ通り戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

證明者住所

戰死者ノ關係

所屬部隊名

兵種 兵死亡前官等

氏名

市町村長證明所

現認（死亡）證明書

[illegible]

此無部龍龍龍
 刀口名美
 龍龍龍
 龍龍龍
 龍龍龍

戦歿者確認(證明)書

一、死歿者所屬部隊名(通稱號) 威第一五三八部隊(第五〇軍行場隊)

一、徵集年 昭和十四年 役種 第一補充 兵種 歩兵

一、官等(死歿前) 陸軍少佐(死歿後) 陸軍少佐

一、氏名 [Redacted] 年 [Redacted] 月 [Redacted] 日生

一、死歿場所 比奈ルン、念口スカヤ湖、スラン

一、死亡區分並ニ事由 戦死

一、死歿年月日時間 昭和二十年六月八日 一時

一、死歿者本籍地留守擔當者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和二十年五月二十五日

元所屬部隊名

現住所

元官等一級

氏名印

比奈ルン、念口スカヤ湖、スラン
威第一五三八部隊

陸軍少佐

註 死亡事由、場所ハナル、ククシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲ

タリシクオ知ラセドサイ

宛先

地方世話部

係

12-11

現認證明書

本籍地
所屬部隊

徵集年 昭和二年

官等級 氏名

陸軍兵長
昭和二年八月八日

昭和二年八月八日

死亡年月日

死亡場所

死亡区分傷病名

死亡状況

戦死

(手榴弾破片創)

右正に現認し證明する

昭和二年八月八日

現認者 所屬部隊(通称)

現住所

旧職官等級氏名(印) 陸軍歩兵上等兵

兵團

大隊

(番号) 三六八部隊

692



◎本表中捺印の欄以外は世帯部にて記入すること
◎記載上の注意並に履歴欄は裏面にあり(記載上の注意をよく讀んでから記入の事)

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|--|------------------------|--|------------|--|------------|--|------------|--|------------|--|------------|--|------------|--|
| 者 | | 帯 | | 連 | | 長 | | 科 | | 長 | | 課 | | 長 | |
| 昭和二十二年 月 日 留公(第 號) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 死亡者調査表 | | 昭和二十二年 五月二十日 甘藷製糖部 製糖課 | | | | | | | | | | | | | |
| 整理番號 | | 所屬部隊 | | 周有姓名 | | 死亡時間 | | 死亡場所 | | 死亡原因 | | 死亡年齢 | | 死亡性別 | |
| 6 | | 機 | | 補 | | 兵 | | 上 | | 死 | | 伍 | | 氏名 | |
| 年集徴 | | 機 | | 補 | | 兵 | | 上 | | 死 | | 伍 | | 氏名 | |
| 本籍地 | | 現住所 | | 遺留者 | | 遺留氏名 | | 死亡年月日時 | | 死亡区分 | | 死亡直前の職務 | | 遺留品状況 | |
| [Redacted] | | [Redacted] | | [Redacted] | | [Redacted] | | [Redacted] | | [Redacted] | | [Redacted] | | [Redacted] | |
| 見所及給親の手入料資 | | 右列認す | | 現住所 | | 所屬部隊 | | 氏名印 | | 職階 | | 官位 | | 未歸還届 | |
| [Redacted] | | [Redacted] | | [Redacted] | | [Redacted] | | [Redacted] | | [Redacted] | | [Redacted] | | [Redacted] | |
| 載配票名者亡死 | | 號番符原者亡死 | | 號番報公 | | 有 | | 無 | | 第 | | 號 | | 號 | |

| | | | | | |
|------------------------------|------------------------------|---|----------------------------|-----------------------------|-------------------------------------|
| 認
定 | 主
任 | 科
長 | 高
橋 | 課
長 | 檢
印 |
| 現
認
者 | 現
認
者 | 亡
者 | 現
任
者 | 本
籍
地 | 所
屬
部
隊 |
| 昭和二十二年九月四日
現認者
印
佐長 | 昭和二十二年九月四日
現認者
印
佐長 | 死亡年月日時
昭和二十二年六月八日
死亡区分
戦死
遺体
無
死亡場所
昭和二十二年六月八日
死亡場所
昭和二十二年六月八日
死亡場所
昭和二十二年六月八日 | 現任者
本籍地
同下
妻
生 | 本籍地
[Redacted]
妻
生 | 所属部隊
同前
排長
上等兵
大隊
失隊 |

此部記録

點檢

証 明 書

本姓
氏名

(昭和五年四月一日)

右者係ハ八年前比律賓へ渡航。ミンダオ島外オ市ラサ
新地ニ在ル敵艦に從事す。

昭和五年八月頃 戦況の急化に伴い軍が現地の作戦
対策を實施するに本氏は元軍師団經理部に軍属として
採用され、外オ市ツカニ新地の軍の指揮の下に食料作物の裁
培と糧秣収獲等ノ勤務す。

昭和五年四月廿九日米軍が外オ地方へ進攻し、米軍糧秣
を運搬し、軍と共にタモカニ方面へ轉進す。

昭和五年六月八日午前十時頃 タモカニ山中宿を去るに
通過するに突然敵機の数機に遭遇し、本氏は敵弾を頸

部を受け、その場で即死した。

私は当時 [] の駐在員、在留邦人の軍属採用
等については常に軍に協力して関係があること、本氏が軍属である
ことをよく知っている。又本氏の戦死したことについては昭和五年九
月十七日(終戦後)オリマニ收容所へ收容中、報告を受けたこと、本氏
が昭和五年六月八日タモカニで戦死したことを知っている。

右は事実と相違ありません。

昭和五年五月二十日

[]

証 明 書

本 籍

氏 名

[Redacted]

([Redacted] 年 [Redacted] 月 [Redacted] 日生)

右者比律賓ミンダナオ島ダバオ市ラサン耕地で麻栽培に従事す。

昭和十九年八月頃第百師団経理部に軍属として採用す。ワガン耕地に於て軍の現地自活のため食料作物の栽培や糧秣収集等の勤務に従事す。

昭和二十年四月二十九日米軍がダバオ地方へ進攻し来るや糧秣を運搬して軍と共にタモガン方面へ転進中、昭和二十年六月八日午前十時頃タモガン八キロ附近に於て敵の空襲により本名は敵弾を頭部に受けて即死した。

右証明する。

昭和三十九年五月八日

一歩弾入

元百師団経理部

庶務課長 陸軍主計中尉
兼主計課長

現認證明書

地方世話部

| | | | | | |
|------------|-----|-------------------|---------------|---------|---|
| 死者 | 亡 | 者 | 死者 | 死者 | 死者 |
| 所屬部隊 | 本籍地 | 死亡年月日時 | 死亡區分 | 留守宅住所氏名 | 死時状況 |
| 獨立無線部百二十五隊 | | 昭和20年6月7日 11時 42分 | 戦死 | 本籍地不明 | 昭和20年6月7日北郡ルニ島ベレテ山南の戦場で敵の迫撃砲弾に命中し、左胸部に砲弾破片を刺し、重傷を負った。戦死した。死後、遺体は発見され、埋葬された。 |
| 職役 | 種兵 | 死亡場所 | 死亡事由 | 職柄 | |
| 現 | 通信 | ベリツニ島 | 右肩骨及左胸部砲弾破片刺し | 文 | |
| 前死 | 一等兵 | 氏名 | | | |
| 後死 | 一等兵 | | | | |

右現認證明致します

昭和20年6月7日

| | | | | |
|-----|----|-----|------------|-----|
| 現認者 | 本籍 | 現住所 | 所屬部隊 | 職氏名 |
| | | | 獨立無線部百二十五隊 | 隊長 |

大川

戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所屬部隊名(通稱號) 戒第1538部隊
- 一、徵集年 戦 年 月 日
- 一、官等(死歿前) 少尉 後補 豫備役 兵種 航空兵
- 一、氏名 [Redacted] (死歿後)
- 一、死歿場所 [Redacted]
- 一、死亡區分或ニ事由 [Redacted]
- 一、死歿年月日時 昭和21年 6月 9日 午後 時
- 一、死歿者本籍地留守療養者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和21年 6月 9日

元所屬部隊名 戒第1538部隊

現住所 [Redacted]

元官等 後補豫備役

氏名 印 [Redacted]

注 死亡事由、場所ハナルミクソシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクソシクオ知ラセドサイ

宛 先 [Redacted]

地方世話部 係 [Redacted]

死亡事實(現認)證明書

本籍地

現住所 石 同 公

所屬部隊 第八師団司令部

徵集年 昭和十七年 氏名 官等級 陸軍上等兵

右ノ者昭和二十年 六月 九 日 午 一 時

三十分 南 部 北 二 於 半 証 軍 下 二 依 里 豐

病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和 年 月 日

所屬部隊 職 名

第八師団司令部 官等級 陸軍 少 佐

氏名

- 記載
- 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シタルモノハ詳記ス
 - 一、職名ハ中・小隊長、砲手、操縦手等ト詳記ス

28-11

昭和二十二年 月 日 公 號

地方世話部 死亡者 認定票

昭和二十二年 月 日 製
留 守 業 務 課

獨歩第十聯隊 地籍名(威) 五五一四

| | | | | | | | | | | | |
|---------------------|-----------|-----|-----|-------|-----------------|------|-------|------|------|---|-----|
| 本籍地 | 昭 24 | 種 役 | 補 兵 | 級 等 官 | 前 亡 死 | 上 | 後 亡 死 | 名 氏 | 昭 24 | 月 | 日 生 |
| 死亡年月日時 | 昭 20 | 6 | 9 | 1620 | 死亡場所 | 武庫山 | 傷病名 | 頭部貫通 | 銃創 | | |
| 死亡區分 | 戰 | 北 | | | 傷病名 | 頭部貫通 | 銃創 | | | | |
| 現 住 所 | 同本籍地 | | | | 氏 名 | | | | | | |
| 親 屬 | 父 | | | | 氏 名 | | | | | | |
| 在 職 定 額 | 右の通り | | | | 名 簿 所 見 | | | | | | |
| 路 經 手 入 ノ 料 資 及 料 資 | 獨歩第十聯隊 兵長 | | | | 停 年 名 簿 良 | | | | | | |
| 決 算 | | | | | 認 定 進 級 告 知 証 錄 | | | | | | |

74-01

死亡事實證明書

不 明

現 在 所

所 屬 部 隊

死 亡 確 證

假 集

留 守

名 稱

死 亡 確 證

死 亡 確 證

死 亡 確 證

死 亡 確 證

死 亡 確 證

死 亡 確 證

本籍地不明

第1航空隊連隊

機長等

死亡後確證不明

假集二補

兵種

通

不明

不明

不明

不明

不明

不明

昭和十六年 参月 拾八日

連署

氏連署品は所屬部隊に保管あり

昭和十六年 参月 拾八日

連署



戦死せよものと推定す

1143

[illegible]

死
亡
現
認
證
明
書

[illegible]

昭和 年 月 日 調製

62-113

拜復

別紙調査表

身の上

答へさせていただきます。

小生は同君の従兄弟にあたる者にして別に同君が死せ
る事実を確答申し上げる何らの資料も持て居りませうが
追つて申し述べる事由に據り同君は別紙記入如く
歿死せられたるものと認定いたします。

即ち小生が所係部隊は昭和二十年六月下旬（三日か四日頃）

比島山岳州ギヤンガン（詳しい地図は知りませんが北部ルツ

ンで東海岸によつた地点と記憶しております）と後は更に三

十数軒北方へ転進することになりました。そうして小生は部

隊后方に於て、^{目的は何かあるか}ギヤンガン北方約三軒の地点に差しかり

ました時敵機の飛来偵察が始まりました。道の傍ら岩かげ

の凹地を見つけて退壁休憩いたしました。そこは小生より一足早

く退避する数人の各隊の中に偶然にも

発見され非難的とも思はれる邂逅のことにて約三十分



30-12

リッソく」と話し合ひ、何日か待して別れ、そして小生は一度芝
に去つてしまふ。それつまり同君は遂に再会の機会もなく
棄じ居てしまふのひまが、その時、同君の口から聴いた状
況は

同君はつい半月程前まで、マリアアにてバギオ近くの野病を

治療中、本隊をたづねてバギオに向つた所、バギオ市は疾

くは敵の手中にあり、同君所居の中隊は歩兵に転科

バギオの備へ玉砕せりとの報を接したるため止むなく此上

として六月下旬、キャングに到着、小生と邂逅したとのこと、

た、所居の中隊が今は玉砕して無いため、これからアバリ

（は島北端の港）の航空兵団をたづねて命令を要ける。

つもりだと言ひましたが、道中、はゲリラの出没甚しく相当危

険ぢやないかと思ひ、其の時小生は、それより、軍司令部に指

揮を仰いだちがよからう」と言ひ、先んが同君は微笑み、

「なあん大丈夫ですよ、ニゲてそろそろ行けは

いふまでも、途中で死なないうさ」と、天気の晴りました。

申し履きました。[redacted] 着るその時の服装は海軍服海軍
帽で無階級章。[redacted] マリアの予命もきはめて良し頗る
天気でむろ小生の方がよろしくして居りましたが同君と
合時と退院したと云い同中隊の何とが伍長（これは階級章
もつけて新しい服を着てました）と連れ戻りまして所がこの伍
長顔面蒼白瘡だらけ衰へて気の毒なやうな目ばかりきま
した若いゆかてと。

左い国その時のめぐり會ひで外への年がかりもあ
りませんが当時の状況地勢から推して小生はたの如く推
定いたします。

恐らく同君は行程一日七八軒をたてて

君は同行の伍長とかはいづうアハリへアハリへと向
つたこととせう。所がキヤン北方四十軒位あるの地味かうは
物凄く状況悪く同地に差かゝる人もなく二人はゲ
リラの手に残されてしまつたと思ひます。事実その頃

随分

の

（

）

と

から

小生もたまには同君らの身と安あじついで居ました。

以上のやうな次オで何らの確証は得られませんが小生は
二人の黙死を信じてます。

依つて別紙の如くお答へ申し上げました。

尚ほ其の頃小生はよく山道を往きます。其の同君らの

消息と聲もぬれこともあり。ゲリラにやうゆえと言ひ話をきくと

日裏者はなにか服従其他につき^{（明）}なにしをりましたが

顔立ち

其の向かい①回海軍と陸軍の兵隊が之々四R.Hの少し先で

やうくゑるゑのを見えと言ひ小者がありましたが当時病身なつて

小生はゆさくそれとをしかめは行く元氣もなくそのまゝにすま

ましたが今となつては自主其の念もありませんが 小生は同君の

大まな

の家族の方にも訪さず居ます。この故費方には於かれともこの事

はけは絶えずお祈りなすやうなうがいます。何故するば小生のいとこ

で御座る方と云ふのは親戚関係にあり。小生の不誠意を述べ置

現 認 證

| | | | | |
|----|-----|-------|----|-----|
| 所屬 | 固有名 | 承作者 | 戰時 | 徵集後 |
| 部隊 | 通稱號 | 或九一二三 | 部 | 階級 |
| 年 | 役 | 以 | 兵 | 長 |
| 年 | 月 | | | |

| | | | | |
|---|---|-----|---|---|
| 日 | 守 | 現任所 | 同 | 在 |
|---|---|-----|---|---|

| | | | |
|---|---|---|--|
| 姓 | 名 | 父 | |
|---|---|---|--|

| | | | |
|----|----|----|--|
| 階級 | 進級 | 年月 | |
|----|----|----|--|

| | | | |
|---|---|---|---|
| 看 | 外 | 主 | 其 |
|---|---|---|---|

| | | | |
|---|---|---|---|
| 醒 | 主 | 其 | 他 |
|---|---|---|---|

| | | | |
|---|---|---|---|
| 登 | 主 | 其 | 他 |
|---|---|---|---|

| | | | |
|---|---|---|---|
| 死 | 亡 | 認 | 定 |
|---|---|---|---|

| | | | |
|---|---|---|---|
| 死 | 年 | 月 | 日 |
|---|---|---|---|

| | | | |
|---|---|---|---|
| 死 | 年 | 月 | 日 |
|---|---|---|---|

死の理由
(傷病等)

死に至る原因

功績(金貨等)

死の前存状況(本人並に所属部隊)

別紙記述の通り

死を認む理由 別紙記述の通り

申請

2 死体埋葬

3 野合開

4 其他

右の通り認定ス

所属部隊名

十四方面軍電信三十七聯隊本部
(威二五二七部隊)

現住所

官等氏名印 衛生庫前

備考 別紙記述の通り詳し記載せし度

死を認む理由(例ハ昭々たる甲ヲ示サレ度ク 甲ハ確實ニハ記憶スルモノ)

死ハ思ハコリタリ

現証

本籍地

部隊名

官階

死亡年月日

死亡場所

死亡区分

死亡理由

右現証

20.6.10

曹長

第三師團

千早ヶ崎附近

戦死

迎撃死

本籍地

部隊名

官階

認証

本籍地

部隊名

官等氏名

死亡年月日

死亡場所

死亡区分

死亡理由

右現認ス

第30戦山形県河内郡
司令部

軍曹

昭和二十年六月十日

比島ネグロス島興甲山

戦死

特攻隊より帰還

本籍地

部隊名

官等氏名

飛行第二〇軍団

伍長

46-11

本籍地
 部隊名
 官名氏名
 昭和五年六月十日
 死亡場所
 死亡原因
 戦病死
 死亡理由
 右現認不

現認不
 部隊名
 飛行第五十二隊
 昭和五年六月十日
 戦病死

昭和 年 月 日

88-15

姓名
 氏名
 軍属
 隊別
 職別
 備考

特になし
 採用年月日 昭和十一年十二月二十二日

調査官
 氏名
 職別

本籍地
 備考

記載上の注意(書き方にわからない点がありましたら速電なく調査官に聞いて下さい)

本証明書は、未帰還者の死亡の処理を行う場合の基本となる証書で、ありまから特に正確に書いて下さい。従って、記憶が不確実なる箇所には「～」や「～」の旨を明かにして下さい。なお、本証明書が最も大切な点は「死亡の事実を現認(確認)されたこと」並びに「死亡を知った方法」にありますからこの点は出来るだけ詳細に記述して下さい。

※印をつけてある所は調査官が記入しますから、書く必要はありません。

一 死亡を知った方法の欄には、自ら現認した、死水とった、船中に立会った、屍衛兵に立った、慰霊祭又は葬儀に立会った、誰々から聞いた、死亡したことを命令等で見た等死亡事実を知った方法具体的に書いて下さい。

一 参考資料欄には次のことを書いて下さい。

一 貴方の外に本人の死亡事実を知っている人があれば、その人の氏名、所属部隊、本籍地等

一 死亡者の特徴(容貌、体格、特長、前取等)

一 死亡者が軍属の場合、その官等俸給(日給)、採用年月日等

一 調査官の記入事項

一 資料提供者の記入せしめ事項又はその記入欄中記入の出来なかつた事項を、調査官が訂正又は補償した場合は「」を附して記入し、資料提供者の記入したものと明瞭にする。

一 調査官は、死亡諸元の各項につき資料提供者に訊しその確度を判定しこれを該当欄に記入すると共に「死亡事実」について総合的に確度を判定し、且つ、調査に際し提供者から受けた印象等から確認処理の適否として利用するに差支えないか否や等の判定を所見欄に明記すること。なお、資料内容に不十分なる点特に死亡事実の一致の不安のあるときはこれを認めためた手段等を附記すること。

一 本籍地出結票の欄は本証明書の取扱要領等所定事項を記入するために利用すること。

現認證明書

本籍地
現住所
所屬部隊
官氏名陸軍
死亡場所
死亡區分
死亡日時
死亡傷(病)名
留守擔當者住所
續柄氏名

右證明

昭和二十二年

現認者住所

元所屬官氏名

す
る

月 日

比島派遣軍威九九八部隊の隊(五西飛大)

小尉 (死亡前)

比島北部ルツ島エチアゲヨリ東南方四一五六軒地点
戦死

昭和二十二年六月十日午後一時頃
戦死

父

威九九八部隊の隊

陸軍佐長

2.1-12

死亡事實(現認)証明書

本籍地

現住所

所属部隊

野砲第六大隊

徴集年

氏名

官等級 上等兵

右ノ者昭和二十年六月七日 時

分トシテニ於テ戦死ニ依リ戦傷

病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和二十年六月十九日

所属部隊

職名 野砲第六大隊

官等級

伍長

氏名

注意 一、死亡地所、要傷部位、病名等判明シタルモノハ詳記ス
二、職名ハ中・小隊長、砲手、換銃手等ト詳記ス

15-11

1159

現認(事實)證明書

本籍地

所屬部隊 固有名 野砲兵第八聯隊 通稱名 (秘) 四七三八部隊

徵集年 昭和十五年 役種 豫備役兵種 野山砲

官等級 昭和 年 月 日 陸軍氏名

世襲 中尉

年 月 日生

- 一、死亡年月日時分 昭和二十年六月十日午後四時十分
- 二、死亡區分及傷類名 戦死 腹部貫通銃創
- 三、死亡場所 フリウビン ルソノ島ノ北東に在る二軒十二ノ谷
- 四、死亡状況 昭和二十年六月十日イハル北東に在る二軒十二ノ谷ニ於て、敵機ノ襲撃ニ遭ヒ、腹部に銃創ヲ受ケテ死亡ス。死後、遺體ヲ見出シ、同地ニ埋葬セラル。
- 五、遺骨及遺留品の有無 遺骨ニシテ見出サレズ。遺留品ニシテ見出サレズ。
- 六、死亡に關する書類の有無 陸軍省及陸軍省ニシテ見出サレズ。

右の通り相違ない事を證明する

昭和二十年六月十日 元所屬部隊(固有名)野砲兵第八聯隊

(通稱名) (秘) 四七三八部隊

現住所

舊職官等氏名 陸軍省

一、死亡原本籍地

二、留守遺囑者の住所 遺囑氏名

右の通り相違ないことを證明する

昭和二十年六月十日

状況不明者り資料届

本籍地

所属部隊固有な 建築勤務第三七中隊

通稱名 威四八二九部隊

兵長

昭和二十年一月より開始せる北郎ルン作戦に傳令として参加中
昭和二十年六月十日北郎ルン島アリタオ東北方三十軒の地奥に
於て敵機の銃撃により頭部貫通銃創を受け十三時三十分
即死す

遺骨

不明

遺物品 無し

佐長

五 省 端 寶 豐

圖書

部 器 世 式

137-11

| | | |
|------------|-------------------|-----------|
| 死者の
認定者 | 死亡者との関係 | 戦友 |
| | 右の通りと認める | |
| 認定者 | 部隊名 | 建勳 三七中隊 |
| | 通稱 | 清四八二九 |
| 死者の
遺体 | 現存 | 否 |
| | 遺骨、遺髪等の状況 | なし |
| 死者の
遺体 | 戦病死の状況 | |
| | 発病年月日、場所、病名等を記入する | |
| 死者の
遺体 | 戦死の状況 | 昭二六、一〇 戦中 |
| | 場所、負傷部位等を記入する | 空爆死 |
| 死者の
遺体 | 死亡した年月日 | 昭二六、一〇 |
| | 死亡した場所 | ルソン島 アタナ |
| 死者の
遺体 | 官等氏名 | 伍長 |
| | 部隊名 | 建勳 三七中隊 |
| 死者の
遺体 | 通稱 | 清四八二九 |
| | 部隊名 | 建勳 三七中隊 |

五師說

一、死攻者所屬部隊名（通稱號）
威第 一 吳入三 部隊

一、徵集年

一、官階（死後前）
（死後後）
上等兵

一、氏「名

一、死後場所
ルンペン、ガン

一、死亡原因及理由
 六月、重病により、疾病死、死体腐葬なり

一、死歿年月日時
昭和二十年九月十日
日 時 分

一、死歿者本籍地留守墳墓者

右確認（證明）ス

昭和二十一年
一月十日

元所屬部隊名 威第一大隊 部隊

元宮尊藏

氏名印

註 死亡事由、場所ハナルベクワシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明確ニ生死不明ニナラズ者ハソノ前後

苑
先

地方世話部慰恤係

戰後者確認證明書

一、死者所屬部隊名（通稱號）

成

卷一

1

徵集年

復齋

殲

10

官等二死政前

▲

死

卷之七

一、氏、省

一、死殞場所

二、死亡區分之二事由

一、死後年月時間

一、死疫者本籍地留守掘瘞者

右確認（證明）ス

昭和二十一年一月一日

现
住
所

元官學級

氏名印

卷之三

クワシクオ知ラヒ下サイ

苑
先

地方世話慰恤係

死亡事實證明書

| | | | |
|--|-----------------------------------|--|--|
| 本籍地 | [Redacted] | | |
| 現住所 | 同 右 | | |
| 所屬部隊 | 第百五師團 輜重兵 第一中隊 | | |
| 通稱號 | 威一六六九部隊 [Redacted] 隊 [Redacted] 隊 | | |
| 徵集年 | 一等兵 [Redacted] | | |
| <p>右 著 昭和二十年六月一日十一時 比島田中村ニ於テ
 大膽火火ニテ戰病死スル事ヲ證明ス</p> | | | |
| 昭和二十二年一月 | 日 | | |
| 現住所 | [Redacted] | | |
| 調製者 部隊名 | 比島水雷 勤一六六六部隊 | | |
| 職氏名 | 伍長 [Redacted] 隊 | | |

50-10

死亡者現認證明書

[illegible]



先(座)

21

死亡者調查表

◎本表中添印の欄以外は世辭部にて記入すること
◎肥後上の注意並に履歷欄は裏面にあり（肥後上の注意をよく讀んでから記入の事）

部

課

長

科

巡

帶

者

整理
番號

死亡者調査表

昭和二十二年 月

日調製
部製調

所屬部隊固有名義

四軍野戰隊通都驛

VN-1

留守業務局

地方世話

年集徴※

7役

和兵

官等死時令

年並に發令

後死亡死

氏名

生年月日

年

日生

本籍地

現住所

留守

旅當者

親柄氏名

死亡年月日時

死亡區分

死亡直前の職務

遺骨運留品の状況

資入手の経緯及場所見

右現認す

現住所

現住所

官等

氏名印

署名

未歸還届

無

決定

利出

綴議

官給

有

第九八二號

公報

番報

號

28-10

1169

運七

明

明

明

明

明

不明

明

明

明

明



戦死証明書

3370

一、戦死者本籍地

戸主名 渡瀬 戸主 本人

氏名

年 月 日生

二、所属

比島 派遣 振武 第... 隊本部

三、戦死者役年 年 役種 予 役 兵種 歩 兵 死亡前官等 陸軍 昭和二十年四月一日

四、戦死年月日時刻及場所 昭和二十年六月十日、比島ラックナサタマ、北約十二科

五、戦死現認ノ程度 確 實

六、遺骨歸還ノ有無 無

七、戦死當時ノ状況ノ概要

大敵より四十名の死傷初めに、敵中へ斬り、砲撃を受け死す。

八、死亡區分 戦死

事由 戦死

發病年月日 昭和二十年六月十一日

九、其ノ他 (上陸地、其ノ死亡者、戦後ノ申立、戦後整理等) 申立於上陸年月日及上陸地

主 幹 部 理

一〇、遺族ノ現住所

戦死者トノ親類

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年 二月 十一日

証明者住所

戦死者トノ關係 同部 高経五官

所屬部隊名 比島 派遣 振武 第... 兵田 大隊本部

兵種 官等 陸軍 至中尉

氏名

市町村長證明箇所

右、相違なきこと証明す

昭和二十二年 二月 十一日

印

1171

三 四

年 月 日生

北島派遣振武集團 陸軍 大隊本部通信班

四、戰死年月日時刻及場所 昭和十一年六月十日、ルソン島、マナトゥサマリア北約十二英里

世界文化出版

七、戰死當時之狀況、概要

「台国政要」ヲ學子六月十日受領。我モ之ヲ愛重シ引奉テ別行。教女ハ我々後日還近中。

九、其、他、
（上陸地ニ於テ死亡者最モ多ク、部族殘存者及不明者ノ登記ノ入ル）
申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

10. 遺族之現住所

戰死者卜、續柄、父

氏名

右ノ通り戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年、二月二十日

睦明者住所

戰死者下，關係同部防立係

所屬部隊名比島派遣振武集第四

兵種 官等級陸軍 軍医中

氏名

市町村長證明箇所

戦病死証明書

昭和四年五月



| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|-------|------|-----|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|------|------|----|
| 市町村長の証明 | 所屬部隊名 | 死亡者名 | 現住所 | 現住所 | 人 | 本 | 内 | 年 | 月 | 日 | 時 | 分 | 死亡場所 | 死亡原因 | 備考 |
| | 所屬部隊名 | 死亡者名 | 現住所 | 現住所 | 人 | 本 | 内 | 年 | 月 | 日 | 時 | 分 | 死亡場所 | 死亡原因 | 備考 |
| 右證明ス | 所屬部隊名 | 死亡者名 | 現住所 | 現住所 | 人 | 本 | 内 | 年 | 月 | 日 | 時 | 分 | 死亡場所 | 死亡原因 | 備考 |
| | 所屬部隊名 | 死亡者名 | 現住所 | 現住所 | 人 | 本 | 内 | 年 | 月 | 日 | 時 | 分 | 死亡場所 | 死亡原因 | 備考 |

昭和五年一月一日

[illegible]

257-10

比島派遣遺威一〇六五五部隊
陸軍兵長

有

昭和三年五月十日、リガアール洲、カルクタ、モントノ
戦に戦死ス

昭和三年三月一日、兵長に選任ス

右、勲考ヲ書明ス

昭和三年二月七日

傳

現認 証明書

本籍地

舊部隊

(通稱)

第九飛行場大隊

第一六五〇二部隊

襲撃隊

年役

役職

氏名

右の者昭和三十一年八月十日北郷島赤島山嶽州に於いて
附近の戦中、戦死したる事を現認する。

54

死亡者調查表

六月三日

金

◎本表中央印の欄以外は世帯部にて記入すること
◎肥戒上の注意並に履歴欄は裏面にあり(肥戒上の注意をよく讀んでから記入の事)

2-10

[illegible]

1998



年 月 日 庚

續柄父氏名

耳

一

ナシ

昭和壬午十月七日△△△△△

名

氏名

現認證明書

本籍地

現住所

本籍地

同

所屬部隊 比島連風一五三二部隊

役種兵種官等級

陸軍 中長

死七狀現 (死七年月日照和二年十一月二十一日) 死七場所 本島又島 死七区分 迫撃砲

留守担当者住所 続柄氏名

現認者住所

元所屬部隊 比島連風一五三一部隊

官職 陸軍上等兵

氏名

航院

控

戰時死亡者現認ニ關スル件報告

昭和二十一年一月五日

地方世話部長

留守長官部大蔵

件左記ノ通り報告ス

本件ハ全クハ... 報告ニ付為念

| 所屬部隊 | | 死 | 事由 | 前線致傷 | 官等級別 | 名 | 本籍地 |
|-------|---------|-----|---------|------|------|---|-----|
| 第九二部隊 | 昭和二十年六月 | ハリス | テキノ木ウイニ | 七三級 | 上級 | | |
| 第九二部隊 | 昭和二十年六月 | ハリス | テキノ木ウイニ | 七三級 | 上級 | | |

現認ス

他... 第九二部隊

陸軍兵長

昭和二十一年一月二十三日

死亡現狀證明書

死亡者所屬部隊名

固有名
通稱

廿五師團步兵第六十二聯隊 三太隊 救護班

徵集年役種兵種

徵集年

昭

1916年 現役

兵種

步兵

官

等

死亡前

上等兵

死亡後

兵長

昭和二十年六月十日

死亡區分

戰死

海軍陸戰隊 死亡場所 北朝鮮 元山 確度甲

死亡年月日時

昭和二十年六月十二日 八時

確度甲

死亡原因

由

昭和二十年六月十二日 北朝鮮 元山 確度甲 戦死

死亡者本籍地

省

昭和二十年六月十二日 北朝鮮 元山 確度甲 戦死

守備隊

省

昭和二十年六月十二日 北朝鮮 元山 確度甲 戦死

石現狀

元所屬部隊 昭二二部隊 救護班

昭和二十年六月二日

現住所

昭和二十年六月二日

氏名

昭和二十年六月二日

昭和二十年六月二日

六五五

現
認
證
明
書

地方世話部

| 死者の死因と関係 | | 死亡時の状況 | | 者 | | 亡 | | 死 | |
|--|--|------------------------------------|--|------------------------------------|--|-------------------------|--|--------------------------|--|
| <p>昭和 22年 3月 2日</p> <p>右現認證明致します</p> | | <p>本籍地</p> <p>所屬部隊</p> | | <p>死亡年月日時</p> <p>昭和 20年 6月 12日</p> | | <p>死亡場所</p> <p>死亡事由</p> | | <p>死亡原因</p> <p>死亡診断書</p> | |
| <p>本籍</p> <p>現住所</p> <p>所屬部隊</p> <p>宣等氏名</p> | | <p>本籍地</p> <p>所屬部隊</p> <p>宣等氏名</p> | | <p>死亡年月日時</p> <p>昭和 20年 6月 12日</p> | | <p>死亡場所</p> <p>死亡事由</p> | | <p>死亡原因</p> <p>死亡診断書</p> | |
| <p>本籍</p> <p>現住所</p> <p>所屬部隊</p> <p>宣等氏名</p> | | <p>本籍地</p> <p>所屬部隊</p> <p>宣等氏名</p> | | <p>死亡年月日時</p> <p>昭和 20年 6月 12日</p> | | <p>死亡場所</p> <p>死亡事由</p> | | <p>死亡原因</p> <p>死亡診断書</p> | |

地方世話部

16-10

戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所屬部隊名(通稱號) 威第一三三九一部隊
- 一、徵集年 昭和二十一年
- 一、官 等(死歿前) 陸軍一等兵(死歿後) 陸軍上等兵
- 一、氏 名 [Redacted] 左 年 月 日生
- 一、死歿場所 比島ルソン島マニラ北方約六十軒モラルパン河上流
- 一、死亡區分並ニ事由 戦傷 死 大三共姑病院 隊
- 一、死歿年月日時間 昭和二十年六月十一日頃
- 一、死歿者本籍地留守府當者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和二十年四月十二日

元所屬部隊 威第一三三九一部隊

現住所 [Redacted]

元官等級 陸軍上等兵

氏名印 [Redacted]

(註) 死亡事由、場所ハナルベクワシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ、生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクワシク告知セ下サイ。

宛先 [Redacted]

地方世話部認定係

5005

死也者調查表

昭和二十二年十一月二十七日調製

者製

[illegible]

本表中央印の欄以外は第一世諸侯にて記入すること
記載上の注意並に履歷欄は裏面にあり(記載上の注意をよく読んでから記入の事)
不備事項中判明しあるものは各班にて米摺すること

正統六年六月 長四四四製

9/1/80

◎本表中捺印の欄以外は世話部にて記入すること
◎肥藏上の注意並に履歷欄は裏面にあり（肥藏上の注意をよく讀んでから記入の事）

2342

王

年 月 日生

99-11

| 所屬 | 通稱 | 有部 | 刑院 | 號名 |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| ... | ... | ... | ... | ... |

特設第五機團隊

比島派遣威

第五部

越死者徵集年(昭和) 年 役種() 兵種() 死亡前官等級() 軍人() 年 月 日 昭和 年 月 日

戰死年月日時及場所 均填部區來本及不此處者收登所 昭和六年六月十日

五、戰死現認ノ程度痛死

六、遺骨歸還，有無不明

七、戰死當時、狀況、概要

和暦元年十月十日ニテ能行場ニ轉運同年六月ニクス少刻着
忘香收存所ニテ戰病死變弱ニミラヤ所究

八、死亡區分 戰病死 事由 マリヤ 發病年月日 昭和廿年六月五日

九、其ノ他（上陸軍等ニ好タテテ死シタル者並ニ被リ自立タル部家親族並近親）申立濟ナレバ上陸年月日及上陸地

10. 遺族ノ現住所

戰死者卜、續柄 妻

氏名

右ノ通り戰死セラレタルユトヲ證明候也

昭和二十一年五月十五日

明者住

所屬部隊名

二、三、

兵種飛行官等陸軍也

氏名

市町村長證明箇所

仁相遷善之發

光緒三十一年十二月八日

1189

156-00

[REDACTED]

氏 名

已非

步兵第七十四師 第六中
比島派遣隊 第二三四部隊

四、戰死年月日時刻及場所 昭和20.6.12日、ミナガサ島 アグサ洲 サマングラサニニテ戰死

他意他陽縣子取

與

戰死當時、狀況、概要
即如平片未月八日 部隊ハ、乃台方面へ轉進、其、途上、敵、爆撃ヲ受ル
乃台之洲中央カニテハ、サニ砲撃場修造ニテ戰死、

九、其、他（上陸地ニ於テ死亡者數ハ吾ニ依リ命立カ、都府縣事務整理班、
（上陸地ニ於テ死亡者數ハ吾ニ依リ命立カ、又不明の形入）申立済ナレバ上陸年月日及上陸地

不哥

[REDACTED]

氏名

昭和十二年 三月十五日

[REDACTED]

知人·戰

陸部

氏 名

明倫彙編 家範典 卷一百一十五

死亡事實(現認)證明書

本籍地

現住所 石岡

所属部隊 第三平野行場大隊

徴集年

官等級
氏名

右ノ者昭和二十年六月 日 時

分隊 第三平野行場大隊

病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和二十二年四月二十日

所属部隊

職名 第三平野行場大隊

官等級 陸軍兵

氏名

注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明セザルモノハ詳記ス

二、職名ハ中・小隊長、砲手、操縦手等ト詳記ス

(附申入)

2月

號

戰時死亡者現認ニ關スル件報告

昭和二十一年三月廿日

地方世話部長

留守業務部長殿

歸還軍人ニ依ル首題ノ件左記ノ通り報告ス

追記 本件ハ左記現認者ノ申出ニ依リ調製シタルモノニシテ當部ニ於テハ公報等處理シテラサルニ付爲念

| 所屬部隊 | | 死 | 場 | 所 | 事 | 由 | 現役 | 氏 | 名 | 本籍 |
|-------|------|----|-------|----|-------|-------|----|---|---|----|
| 成九七部隊 | 昭二 | 八月 | オニ波線 | 戦死 | 砲火ニ依リ | 砲火ニ依リ | 現役 | 氏 | 名 | 本籍 |
| | オニ波線 | 戦死 | 砲火ニ依リ | 戦死 | 砲火ニ依リ | 砲火ニ依リ | 現役 | 氏 | 名 | 本籍 |

右現認ス

現任所 所屬部隊 成九七部隊

官等受命印 陸軍曹長

21.2.23 4205 付受

6-11

昭和二十年三月十日

戰時死亡者現認ニ關スル件報告

昭和二十年三月十日

地方世話部長

留守業務部長殿

歸還軍人ニ依ル首題ノ件左記ノ通り報告ス

追而 本件ハ左記現認者ノ申出ニ依リ調製シタルモノニシテ當部ニ於テハ公報等處理シテラサルニ付爲念

| 所屬部隊 | 死 | 事 | 由 | 現役 | 官等級 | 氏 | 名 | 本籍 |
|--------|--------|-------|----|----|-----|----|---|----|
| 比叡連遺 | 昭二 | 敵砲 | 砲火 | 現役 | 曹長 | 右合 | 父 | 右合 |
| 威九九七部隊 | 十百廿三陸線 | ニ依リ戦死 | | | | | | |

右現認ス

所屬部隊

號

2.23 和
313号
受

戦死者由告白書

陸軍憲兵軍曹

被立証時 昭和

所屬部隊 北島憲兵隊 二ノ南憲兵分隊

本籍

昭和十一年六月十日 戦死

場所 北緯廣北部ルンニヤカニ山中

戦死状況 敵に交戦中 右眼部 首貫銃創 壯烈に戦死

送

任所

右田重吉 戦死者

元陸軍憲兵軍曹

戦死者 上 贈状

同 家族 戦友

遺骨 発見 有

任所 隊名

父

死 亡 事 實 證 明 書

本籍地

現任所 在 用

所屬部隊 比島派遣隊 第一〇六八一部隊

(固有名) 第十四軍野戰自動車修理部

徵集 年昭和十九年上等兵 陸軍上等兵

一月十五日 氏 名

右の者昭和二十年六月廿午前 時 分時刻不明

比島多島山に於て陣地戦闘中砲撃に依り

戦死(傷死)たつことを證明する

昭和二十年 六月三日

現認者 現任所

注 意 元分隊長 佐々木 氏 名

(一)死七地點 受傷部位 病名 異動 ありものは詳記す
(二)職名は特に戦傷(死)死音との関係に付し詳記す

戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所屬部隊名(通稱) 或第〇四〇七部隊 (英七七八号部隊)
- 一、徵集年 昭和二十一年 役種 兵 兵種 衛生兵
- 一、官位(死歿前) 上等兵 (死歿後)
- 一、氏名 [Redacted] 年 [Redacted] 月 [Redacted] 日生
- 一、死歿場所 [Redacted]
- 一、死に二分の一 事由 [Redacted] 昭和二十一年六月十五日マリアン群島戦歿
- 一、死歿年月日時 昭和二十一年六月十三日 南洋
- 一、死歿者本籍地留守擔當者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和二十一年三月八日 元所屬部隊名 或第〇四〇七部隊

現住所 [Redacted]

元官位 兵 陸軍兵

氏名 印 [Redacted]

註 死に事由、場所ハナルベクダシク時ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナラズ者ハソノ前後ヲ
クワシクオ知ラセ下サイ

宛 先 [Redacted]

地方世話部慰恤係

死亡事實證明書

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|-----|-------------|----------|-------|---|------------|------------|------------|------------|------------|----------|-----|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 本籍地 | 現住所 | 所屬部隊 | 通稱號 | 徵集年 | <p>右記若 昭和二年六月三日比島赤松島六丸山ヨリ糧秣ヲ獲保リ為下山セシ時 殿ニハ脚底ノ屑山ニテ倒レテ死スル事アリ。昭和二年六月三日脚底榮養失調、為溺死セラレシ事ヲ證明入</p> | 昭和 | 年 | 月 | 日 | 調製者 | 部隊名 | 職氏名 | 海軍二三五設営隊 | 軍辰 | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] |
| [Redacted] | 同 石 | 獨立歩兵三百六十二大隊 | 威一七六〇三部隊 | 昭一九徵集 | | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | 海軍二三五設営隊 | 軍辰 | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] | [Redacted] |

52-11

現本 現 認 書

氏 現本 怪 所 地 認 書

所 屬 部 隊 敢 一 七 五 大 部 隊

官 署 級 修 軍 士 等 兵

一 散 集 獲 獲 獲 照 二 十 八 日 發 給 良 友 獎

一 死 亡 年 月 日 昭 二 十 年 十 月 十 三 日

一 死 亡 場 所 八 一 島 南 口 及 州 々 々

一 死 亡 區 分 戰 死

一 死 亡 事 實 及 病 名 發 病 年 月 日

現 認 事 右 々 々 不 附 近 戰 斗 於 戰 死

一 遺 骨 有 無 一 遺 族 現 住 所 續 稱 氏 名

右 相 連 無 二 事 主 證 明 十 五

現 認 者 官 署 級 名 印 修 軍 士 等 兵

所 屬 部 隊 敢 一 七 五 大 部 隊

現 住 所 々 々 々

昭和二十一年十月二日

59-10

[illegible]

死亡者現就證明書

昭和二十一年九月

所屬部隊 隊員有 第十航空情報聯隊 威一八九一大部隊

本籍地

原籍 昭十四年 征子 征行兵 上

人

死亡年月日時刻 昭和二十一年六月五日

死亡區分 戰死

發病處 在 昭和二十一年六月五日

留航公第 52 號 昭和二十一年九月十三日 全身砲彈破片創

留身

現住所

遺骨

遺骨遺留品の有無

現

所屬部隊 隊員有 第十航空情報聯隊

現

官 官 級 陸軍兵長

現

昭和二十一年十一月三日

現

昭和二十一年十一月三日

現

昭和二十一年十一月三日

No.

| 兵籍 | 還未
屆期 | 死主
任認 | 死委
員認 | 係調
長查 | 係總
長務 | 課
長 |
|----------|-----------|----------|----------|----------|----------|--------|
| ナ照合
シ | 届ナシ
照合 | | | | | |

| 及
所
見 | | 者
認
現 | | 擔
當
者 | | 留
守 | | 人 | | 本 | |
|-------------|-----------|-------------|---------|-------------|------|--------|------|-----------|------|------------|----------|
| 資材入手ノ
経緯 | 現住所 | 上陸年月日 | 官等
級 | 所屬部隊 | 現住所 | 現住所 | 現住所 | 死亡年月日時 | 死亡區分 | 死亡年月日時 | 本籍地 |
| 資材入手ノ
経緯 | 昭和20年1月8日 | 昭和20年1月8日 | 上等兵 | 陸軍第一二六小隊 | 父 氏名 | 父 氏名 | 父 氏名 | 昭和20年6月3日 | 病死 | 昭和20年6月14日 | 陸軍第一二六小隊 |
| 及所見 | 昭和20年1月8日 | 昭和20年1月8日 | 上等兵 | 陸軍第一二六小隊 | 父 氏名 | 父 氏名 | 父 氏名 | 昭和20年6月3日 | 病死 | 昭和20年6月14日 | 陸軍第一二六小隊 |
| 及所見 | 昭和20年1月8日 | 昭和20年1月8日 | 上等兵 | 陸軍第一二六小隊 | 父 氏名 | 父 氏名 | 父 氏名 | 昭和20年6月3日 | 病死 | 昭和20年6月14日 | 陸軍第一二六小隊 |

死亡者現認證明書

昭和20年9月 民生部第一世話課 日開製

24-12

現認證明書

氏名 現本 住所 比島川二島カヤニナリ

所屬部隊 第五西飛行場大隊
官等級 陸軍少佐

一 徵集從種兵種 昭和二十二年三月集補兵 東洋飛行兵

一 死亡年月日 昭和二十二年六月十四日

一 死亡場所 比島川二島カヤニナリ南飛行場北

一 死亡区分 戦病死

一 死亡事由 病名 發病年月日 昭和十九年十月十日 熱帯病

現認事 感風寒之遂 今年六月十四日死ニシテ

一 遺骨の有無 有

一 遺族現住所續柄 氏名

右相違無シ之を證明す

現認者官等級 陸軍少佐

昭和二十二年十月一日 所屬部隊 第五西飛行場大隊

現住所 比島川二島カヤニナリ

第18部(附航空)

戰 甲 乙 丙 丁 戊 己 庚 辛 壬 癸

案

書

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

戰 先

20.6.14

06.00

戰 先 戰 先 戰 先

戰 先 戰 先 戰 先

無

第18部

戰 甲 乙 丙 丁 戊 己 庚 辛 壬 癸

21-12



本籍地

一等兵

所属部隊固有名 第五四旅團独立歩兵第三六大隊

通稱號 威一七六一部隊

右は昭和三年三月一日より戦斗開始機関銃班小銃手として参战中足部貫通銃創を受け以後部隊行進不可能となり部隊追進中米軍陸兵と激戦中胸部貫通銃創ラ受ケ「シンダナオ」島シラワイ町東南約十五軒の地矣に（昭和六年四月二十分）戦死した死体は同地矣に埋葬した遺留品なし

威第一七六一部隊

上等兵

陸軍

地方世話部

63-4

[illegible]

有の期り強進なきことを説明する。

國曆二十二年三月十日

增刊



● ● ● ● ●

總發行所

四

陸軍軍兵

戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所属部隊名(通稱) 成第〇〇〇人部隊
- 二、戦没年 昭十二年 役第〇〇〇人
- 三、官制(死没前) 一等兵 (死没後)
- 四、氏名 [Redacted]
- 五、死没場所 [Redacted]
- 六、死亡原因(事由) [Redacted]
- 七、死没年月日時 昭和十二年 月 日 時 分
- 八、死没者本籍地留守担当者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和 年 月 日

元所属部隊名 成第〇〇〇人部隊

現住所 [Redacted]

元官制 [Redacted]

印 [Redacted]

脱後ノ死亡ハ明確ニ生死不明ニナラズ者ハソノ前後ヲ

タツシテ知ラセ下サシ

宛先 [Redacted]

地方世話部 係

宛先

書明證

水

現續遺

名所地

五、成

晉屬部

陳寶仁 謹啟

一微集投種芳植

一市 17 元

元七年月日

11月10日

一死七場所

此乃衡南之五洲也。仁者不愛其地。

一死一生區分

既

一、此書係由吳昌碩所書。

現記

右記の如く、西本郷地の計は、於て、新記

一、道滑の有無 無

一、張見虛所繪卷

右圖，達無二事所

[REDACTED]

[REDACTED]

現認有官字銀號印

部隊 七六六部隊

光緒二十五年十月

121

6. 死にまつての事。本人
が、死にまつたとき、その状態を
具体的に

7. 遺言。遺言品について知つて
居る事項

8. 死亡當時本人の感じ。本人は、
死して居つたか

9. 死亡者と自分とはどんな關係に
あつたか

4. 死にまつたとき、本人が、死にまつたとき、その状態を、具体的に、
本人が、死にまつたとき、その状態を、具体的に、
本人が、死にまつたとき、その状態を、具体的に、

5. 遺言。遺言品について知つて居る事項
本人が、死にまつたとき、その状態を、具体的に、
本人が、死にまつたとき、その状態を、具体的に、

6. 死亡當時本人の感じ。本人は、死して居つたか
本人が、死にまつたとき、その状態を、具体的に、
本人が、死にまつたとき、その状態を、具体的に、

右相違ないことを欄に記入する

昭和二十二年一月一日

現住所

元所屬部隊官署名

元陸軍准尉

昭和二十年三月十日

戦時死亡者現認ニ關スル件報告

昭和二十年三月十日

地方世話部長

留守業務部長殿

歸還軍人ニ依ル首題ノ件左記ノ通り報告ス

追而 本件ハ左記現認者ノ申出ニ依リ調製シタルモノニシテ當部ニ於テハ公報等處理シアラサルニ付爲念

| 所屬部隊 | | 死 | 場所 | 事由 | 特志 | 氏名 | 本籍 |
|----------------|-----------|---|-------|-------|----|----|-----|
| 此方遺
辰九九。七部隊 | 昭和二十年三月十日 | 死 | ネグロス島 | 迫撃砲ノ東 | 特志 | 中尉 | 右全ジ |
| | 十五日 | 死 | 三軒屋 | 戦死ス | 特志 | 中尉 | 右全ジ |

右現認ス

現任所

所屬部隊此方遺辰九九。七部隊



現 認 証

本籍地

部隊名

官等氏名

昭行第二戰隊

軍馬

死亡年月日

死亡場所

死亡原因

死亡理由

現 認 証

昭和二十一年六月十五日

比島 小笠原島

戦病死

中々及脚差

本籍地

部隊名

官等氏名

昭行第二戰隊

陸軍中士

4-2-12

右現認す

昭和二十二年十月十一日

現住所
所屬部隊

辰六十三郭站

官等級氏名 陸軍 軍醫

上陸地名 小古島

上陸地支局に於て連絡濟や否や、

上陸月日 昭和三年十二月一日

國際上の注意

- 一、原籍欄は通稱名若し苗姓をも併記するに記入のこと、
 二、死亡欄は出来得る限り詳細に特に本山へ傳、病名、發病(受傷)入院年月日、久臨病院名及其の他參考資料等併せ記入のこと、即事多き場合は附屬添付記入のことと、
 三、遺作(遺留品)欄は有無有る場合は何處にありや(現地、上陸地支所、留守宅等)記入のこと)
 四、証印を忘れぬこと
 五、同一人に對し二部調製のこと

[illegible]

| | | | |
|--------------|--|---|--|
| 戰時死亡者現認證明書 | | 所屬部隊 | |
| 死 | | 時日月年 | |
| | | 場所 | |
| 亡 | | 分區 | |
| | | 事由 | |
| 年 月 日
姓 名 | | (品留遺) 骨頭 | |
| 年 月 日
姓 名 | | 徵集年
種 種
前亡死
今發(年)
日(月) | |
| 年 月 日
姓 名 | | 官 等 級
役 務 | |
| 年 月 日
姓 名 | | 氏 名
生 年 月 日
名 | |
| 年 月 日
姓 名 | | 本 籍 地
(續柄) 氏 名
留 守 擔 當 者 現 住 所
籍 地 | |

昭和
年
月
日

所屬部隊
第一三一部隊

官等級氏名

上陸地名 吳永居

上陸地支局に於て連絡済や否や

上陸月日 昭和十二年十二月二十日

- 一、所屬部隊は近衛師団有部隊名をも特明程度に記入のこと
- 二、死亡類は出来得る限り詳細に特に死山傷病名、發病、受傷入院年月日入院病院院名及其の他參考資料併せ記入のこと、記事多き場合は附添添付記入のこと
- 三、遺骨（遺留品）欄は有無ある場合は何處にありや（我越、上陸地支局、留守宅等）記入のこと
- 四、証印を忘れぬこと
- 五、同一人に対し二部調製のこと

| 履 歴 | | | | | |
|-------------|--------|--------------------------------------|-------------|-------------|--------|
| 年
月
日 | 職
事 | 附
記 | 他
出
張 | 他
上
陸 | 附
記 |
| | | 入替、應召
<small>(人事課)</small>
監理員 | | | |
| | | 自昭
至昭 | | | |
| | | 勤務の概況 | | | |
| | | | | | |
| | | 昭 | | | |
| | | (入隊以後の進級階級) | | | |

生漸寧一世無病

所属部、隊、團、有名
第一航空情報聯隊
第三
第六九一大部隊

威一九一六部隊

| | | | |
|---|---|---|---|
| 本 | 本 | 籍 | 地 |
|---|---|---|---|

| | | |
|---|---|---|
| 年 | 集 | 德 |
| 十 | 和 | |
| 種 | 役 | |

二、國

步
量

一兵

矢

卅

日
作。

人

死亡年月日時刻
西曆一千九百零五年五月

詩

比島 長安島 伊木

死
亡
區
分
戰
死

鼻砲彈破片創

發(癰)病過年
日
年
月
日

可(亦)指(也)

留乎

現
住
所



10

者

續
水丙

妻

天
心

讀

骨遺留品の有無

遊旅承認の無効

十シ

所屬部隊
國有名
元大航空情報聯隊
退場号
威五二八九一六部隊

咸豐八九一六部

官等級陸軍兵長

五

1141

10

10

上陸年月日

昭和十三年三月
自上海陸地

如
論
本

港

鬼信所

Figure 1

1

12

事實(現認)證明書

所屬部隊

固有部隊名 比島派遣隊 一五三三部隊

通稱 號名 三三三航空隊

官等職氏名(死亡前)

技術上等兵

本籍地
現住所

左
同

右ノ者昭和二十年

六月十五日

五時 四十分

ラニマク

ニ於テ

戦

死シタルコトヲ證明ス

昭和 年 月 日

固有部隊名 比島派遣隊 一五三三部隊

通稱 號名 マニラ航空隊

本籍地

職官等職氏名印

技術上等兵 伍長

4/3

6-13

1218

| | | | |
|-------------|-------|-----------------|--------------------------------|
| 確 認 資 料 参 考 | | 死 亡 確 認 | |
| 現 任 所 属 部 隊 | 現 任 所 | オーストラリア 衛生隊 | 昭和三十九年十一月満洲より比島へ轉進 昭和三十九年十二月三日 |
| | | オーストラリア 衛生隊 | 昭和三十九年十一月満洲より比島へ轉進 昭和三十九年十二月三日 |
| 階 級 氏 名 | 現 任 所 | オーストラリア 衛生隊 | 昭和三十九年十一月満洲より比島へ轉進 昭和三十九年十二月三日 |
| | | オーストラリア 衛生隊 | 昭和三十九年十一月満洲より比島へ轉進 昭和三十九年十二月三日 |
| | | （死体は中隊にて埋葬） | |
| | | オーストラリア 衛生隊 三中队 | |
| | | 伍 長 | |

2-11

死亡事實(現認)證明書

本籍地

現任所

所屬部隊

徵集年

氏名

陸軍少佐

右ノ者

昭和三年六月十五日

時

分比島ニ於テアタリヤニ依リ戰傷

病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和三年

六月一日

所屬部隊

職名 松四七三

官等級 陸軍少佐

氏名

注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シアルモノハ詳記ス
二、職名ハ中、小隊長、砲手、操縦手等ト詳記ス



現 認 証 明 書

| | | | | | | | | | | | |
|-------------------|---------------|--|-----------------|-------|---|--|--------------------------|---------------|-------------|---------|---------------|
| 現 認 証 明 書 | 現 在 所 | | 遺 言、遺 言 正 の 状 況 | | 戦 病 死 の 状 況
発 病 起 月 日、場 所、
病 名 等 を 記 入 す
る | 戦 死 の 状 況
場 所、負 傷 部 位 等
を 記 入 す
る | 死 亡 の 区 分
(戦 死、戦 病 死) | 死 亡 し た 年 月 日 | 死 亡 し た 場 所 | 官 等 氏 名 | 本 籍 地 |
| | 部 隊 名 | | 個 有 名 | 部 隊 名 | | | | | | | 個 有 名 |
| | 通 稱 號 | | 通 稱 號 | 通 稱 號 | | | | | | | 通 稱 號 |
| | 死 亡 者 と の 関 係 | | 死 亡 者 と の 関 係 | | | | | | | | 死 亡 者 と の 関 係 |
| 右 の 通 認 証 明 書 を | | | | | | | | | | | |
| 官 等 級 氏 名 印 上 等 兵 | | | | | | | | | | | |

54-11

此式山嶺倍

秋況不明者の資料

新居高院

一等兵

昭和三年六月十五日 北部ルンニ島 ツゲガラオ北方の
地奥に於て戦死した

機オ一口六〇七部隊

二等兵

134-11

1225

民生部世話課

[illegible]

現認證明書

地方世話部

| 死者の係属 | | 死亡の状況 | | 死者 | | 死者 | | 死者 | |
|------------|-----------|------------|------|------|------|------|------|------|--|
| 本籍地 | 役職 | 死亡年月日時 | 死亡場所 | 死亡原因 | 死亡場所 | 死亡原因 | 死亡場所 | 死亡原因 | |
| 昭和22年3月16日 | 右現認證明致します | 昭和22年3月16日 | 死亡場所 | 死亡原因 | 死亡場所 | 死亡原因 | 死亡場所 | 死亡原因 | |
| 昭和22年3月16日 | 右現認證明致します | 昭和22年3月16日 | 死亡場所 | 死亡原因 | 死亡場所 | 死亡原因 | 死亡場所 | 死亡原因 | |

大川地

19-11

現認證明書

縣民生部世話課

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|--|----------|--|--|--|--|--|-------------------|--|---------------------|--|---------------------|--|
| 右現認證明致します
昭和二十二年四月八日 | | 死者との関係 | | 死亡當時の状況 | | 死者 | | 死亡 | | 本籍地 | | 所屬部隊 | |
| | | 戦友 | | 比島ルン島ガロウ三師団陸軍病院に入院中、病で死亡した | | 死亡年月日時
昭和二十二年六月十八日
死亡場所
比島ガロウ陸軍病院 | | 死亡原因
戦傷 | | 本籍地
[Redacted] | | 所屬部隊
比島ガロウ三師団司令部 | |
| 現認者 | | 遺骨、遺品の有無 | | 死亡年月日時
昭和二十二年六月十八日
死亡場所
比島ガロウ陸軍病院 | | 死亡原因
戦傷 | | 本籍地
[Redacted] | | 所屬部隊
比島ガロウ三師団司令部 | | 死亡場所
比島ガロウ陸軍病院 | |
| 官等氏名 | | 現住所 | | 死亡年月日時
昭和二十二年六月十八日
死亡場所
比島ガロウ陸軍病院 | | 死亡原因
戦傷 | | 本籍地
[Redacted] | | 所屬部隊
比島ガロウ三師団司令部 | | 死亡場所
比島ガロウ陸軍病院 | |
| 陸軍三上氏 | | 比島三師団 | | 死亡年月日時
昭和二十二年六月十八日
死亡場所
比島ガロウ陸軍病院 | | 死亡原因
戦傷 | | 本籍地
[Redacted] | | 所屬部隊
比島ガロウ三師団司令部 | | 死亡場所
比島ガロウ陸軍病院 | |

43-11

本籍地

所屬部隊

噴進砲第三大隊本部

官等級氏名

死亡前

陸軍伍長

發病場所

比島東京島

受傷年月日

死亡場所

呂宋島マニラ市東北方五十里ナニ山ニ於テ

死亡區分

戦死

死亡年月日

昭和三年六月十五日

摘要

右現認したることを證明す

昭和二十二年二月十五日

現認者

現住所

所屬部隊

噴進砲第三大隊

官等級氏名

陸軍少曹

旧姓

右の如く

死亡者確認證明書

一死亡者所属部隊名 昭和十九年九月九日司令部

一徵集年(任官年)役種兵種歩兵昭和十八年徵集現役

一死亡者本籍地

一官等級(發令年月日) 死亡前陸軍少尉 昭和十九年九月九日

一代名 生年月日 昭和十九年九月九日生

一死亡年月日時刻死亡通分昭和十九年六月九日午後一時 分戰病死

一死亡場所 北都ルソニ島山岳部中

一死亡事由 (戰傷病死) 昭和十九年九月九日 戦傷病死(受傷) 昭和十九年九月九日 戦傷病死(受傷) 昭和十九年九月九日 戦傷病死(受傷)

一遺骨遺留品ノ状況

右確認證明書

元所属部隊名 現住所 元官等級氏名 復員年月日上陸地 昭和十九年九月九日 大井上陸

號

子君二十二

月

月調製

製陶者



2-55

◎本表中捺印の欄以外は世帯部にて記入すること
◎記載上の注意並に履歴欄は裏面にあり（記載上の注意をよく讀んでから記入の事）

証 明 書

本籍地

[Redacted]

現住所

右ニ同ジ

氏名階級身令

陸軍少佐

[Redacted]

所属部隊

北滿洲軍 第三師團獨立輕戰車隊

隊

戦死年月日

昭和二十一年六月十五日

戦死状況

ルン島ニ於テ部隊ニ一病者ニ付テ

支那軍ニ對テ

突進シテ戦死ス

戦死場所

ルン島ニ於テ

証人

所属部隊

北滿洲軍

第三師團獨立輕戰車隊

隊

本籍地

[Redacted]

現住所

右ニ同ジ

氏名

陸軍少佐

[Redacted]

役員

昭和二十一年十一月八日

昭和二十一年五月十日

本之証明

無事証明

[Redacted]

34-10

皇主名號柄

氏 名

年 月 日生

二、所屬、固有部家名

張遷豹 第二

三、戰死者徵集年
 西曆 年 月 日 役種 兵種 兵死亡前官等級陸軍 年 月 日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和三年六月十五日 愛知縣三好市島子町

五、戰死現認ノ程度、乙種

六、道骨蹄還，有無

七、戰死當時、狀況、概要

八、死亡匯分

駁病之

田一六二

發病年月日 昭和二十年九月一日

九、其、他（葬上野國地ニ於テ死亡者、埋葬所ヲ申立ケ、棺槨腐蝕致スヲ避メ、
葬部等モ之ヲ整理スルガ為メ、整理所定カ、又不明者監入）申立附ナレバ上陸年月日及上陸地

10、遺族、現住所

戰死者下ノ寶柄

中錄

氏 名

右ノ通り戰死セラルタルコトヲ證明候也

昭和十二年二月廿四日

證明者住所

戦死者との関係

五兵

威教十一二三四部陳本部

美

灾種

官等級：陸軍

第 五

氏 名

市町村長證明箇所

前書之通相與無不也

品

昭和壬午二月二十日

陸軍部長
右ハ比島歌達軍警隊一ニ召部隊第七中隊
員トミテ出撃中 昭和三年六月中旬迄ニ
刑トミテ召部隊西刺高地ニ於テ戦病死
セルトカ 証人。

古
串稿

慈院書乃 芥六之九云々
 昭和十二年壬午 現役 歩兵
 力之通之助造ありて人
 出給て壬午年三月甲

48-11

氏現本 住現 地認 證明書

住所同一

42-10

所屬部隊 陸軍第七十六部隊 隊員 日某

官等 陸軍上等兵

徵集役種 陸軍一等兵

死亡年月日 昭和二十六年五月五日

死亡場所 山形県山形市山形町二丁目

死亡区分 戦死

死因 肺炎

現認事

右者 山形部隊 隊員 日某

戦死 戦死 戦死

遺骨の有無 有

遺族現住所 山形県山形市山形町二丁目

右相違無可事を證明する

現認者 官等 陸軍上等兵

所屬部隊 陸軍第七十六部隊

昭和二十六年 五月 二日

事實(現認)證明書

本籍地
現住地

[Redacted]

所屬部隊 固有部隊名 陸軍航空廠二補給廠
近稱號名 五三二部隊

官等級氏名(死亡前) 陸軍少佐 〇〇〇〇〇
大正十五年十二月十二日生

右の者昭和二十年六月十六日午後三時二分

死(病傷名) 〇〇〇〇〇 (したことを證明する)

昭和二十年十月二日

所屬部隊 陸軍航空廠二補給廠
現住地 〇〇〇〇〇

死亡者との關係 〇〇〇〇〇
(舊)職官等級氏名 陸軍少佐

昭和二十年六月十六日

64

18-11

徵集年 昭十五 徵一役種 現予 補國 兵種 飛行兵

現認証明書

本籍地

所屬部隊 (固有名) 飛行第五一戰隊 (通稱号) 威一八四二四部隊

官等級氏名 陸軍上等兵 (死亡前)

死亡年月日時 昭和二十年六月十六日 一六時

死亡場所 比島ルソン島 ヒニキヤン

死亡原因 戦死 (死傷理由) 由頭部通撃砲彈

遺骨遺留品状況 遺髪は 世話課 (納付) 世話課

留付担当者 氏名 不詳

右の通り現認した事を證明する

昭和二十二年九月十六日

現任所 所屬部隊 (固有名) 飛五一戰 (通稱号) 威一八四二四

官等氏名 元陸軍兵長

署名 昭和二十一年一月十三日 於 浦 資

現認證明書

比奈派邊 為威方七師隊 中隊

陸軍上等兵

右者昭和二十年六月十六日北都山森野原ニ於テ
外務省作務局中ニ依リ軍用(勤病死)セルコトヲ現認
ス

昭和二十二年三月九日

現認者元比奈派邊 為威方七師隊 中隊 陸軍一等兵

現任所

氏名

[illegible]

| | |
|------|--|
| 姓名 | 田中 幸次郎 |
| 生年 | 明治十三年六月十日 |
| 死年 | 昭和三年六月十日 |
| 死因 | 戦死 |
| 死場所 | 比島北前ルンノ新一人ノ |
| 死後処理 | 焼死 |
| 遺体発見 | ナシ |
| 備考 | 戦死の経緯
昭和三年六月十日、比島北前ルンノ新一人ノで戦死。遺体は発見されず。 |

60-10

1243

状況不明者の資料局

本籍地

上等兵

所属部隊固有名

第一〇師團工兵隊

通稱號

據第一三八三部隊

昭和三年四月二十九日より開始せるミナミ島作戦に参加中輸送勤務に従事せる際迫撃砲破片創にて入脱如療後殆癒退院し本隊追及中昭和三年六月五日北島ミナミ島バロ道ニ於て戦死す
射薬を受け腹部迫撃砲彈貫通破片創にて八時三十分戦死す
遺骨不明

據第一三八三部隊

雄尉

戰歿者確認(證明)書

- 一、死没者所属部員名（通稱號）
一、徵集年
一、官階（死没箇）
一、氏名
一、死没場所
一、死亡區分並事由
一、死没年月日時
一、死没者本籍地留守遺寄者

右
確
認
證
明
ス

昭和二年一月十日

元所屬部隊名

威一六天

現
住
所

元官等級

氏名印

死亡事由、場所ハナルベククワシク答ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナクテ者ハソノ前後ヲクワシク告知ラセ下サイ

宛先

地方世話部編輯係

魏文侯

[REDACTED]

年 月 日生

此書 並有 第七 第一二三部

年 役 職 名 兵 種 家 兵 死 亡 前 官 等 級 陸 軍 任 用 経 歴 年 月 日

况此三皇五帝日下家法也

国防部档案

24

王明、李、毛、加、科、地、兵、政、

事由 張敬清 發病年 月 日 國 和 年 月 日

[illegible]

五

四和五年正月某日

張

... ॥ १० ॥ ...

長春市外官學校 第五 上卷

前事之通者，雖無之，候也。

現認証明書

十四日、田中軍兵、
比島派遣軍司令部 隊

陸軍兵長

右者昭和二十年六月十一日比島呂宋島スヘヒスカヤ
川ハヨシホシノ地ニ於テ悪性マラリアノ為戦病死ス
右昭和二十年六月十一日同地ニ於テ現認セシ事
証明ス

陸軍兵長

昭和二十年二月一日

1990

1

[illegible]

本隊進取

班長と班員

100

10

10

2

• •

現狀證明書

所屬部隊名 陸軍第一師隊
通稱 陸軍第一師隊
現任所 同
附屬 陸軍第一師隊
陸軍兵長

一、入隊當時 部隊名
昭和十六年徵集

一、因起港灣 出發年月日及場所
昭和十七年三月十日

一、受傷 年月日及場所
昭和十七年三月十日

一、受傷 場所
昭和十七年三月十日

一、受傷 場所
昭和十七年三月十日

一、受傷 場所
昭和十七年三月十日

一、受傷 場所
昭和十七年三月十日

一、受傷 場所
昭和十七年三月十日

一、受傷 場所
昭和十七年三月十日

一、受傷 場所
昭和十七年三月十日

一、受傷 場所
昭和十七年三月十日

一、受傷 場所
昭和十七年三月十日

現狀 第二二野戰重砲隊
昭和二十一年六月六日

7-13

1251

卷一百一十八

三 記事多々場官ハ附屬添付記入ノト 田舎業所局ニ於テ手摺有ノ場官其ノ月日記入ノト
「通骨」(遺留品)欄ハ「有無」有ル場官ハ何ノ如ニアリヤ(現地上時地主尙田舎宅等記入ノト

胡印肉売しヌクト

造 向 人 二 對 三 師 講 製 ぶ ぶ ぶ

死亡事實(現認)證明書

本籍地 [REDACTED]

現住所 本籍 [REDACTED]

所屬部隊 戒嚴第二六九部隊

徵集年 昭二八 氏名 [REDACTED] 官等級 陸軍上等兵

右ノ者昭和二十年六月十七日 時

分此隊ニ於テタリヤニ依リ戰傷

病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和二十二年十二月二十五日

所屬部隊 陸軍第三十六師第三中隊 職名 兵 官等級 陸軍上等兵

氏名 [REDACTED]

注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等列明シアルモノハ詳記ス
一、職名ハ中、小隊長、砲手、操縦手等ト詳記ス

52-11

現認(事實)證明書



本籍地

原所部隊 固有名

徴兵年

官等級(昭和二十一年一月一日發令)氏名 生

- 一、死亡年月日時分
- 二、死亡原因及傷病名
- 三、死亡場所
- 四、死亡状況
- 五、遺骨及遺留品の有無
- 六、死亡に関する書類の有無

右の通り相違ない事を証明する

昭和二十一年 月 日 元所部隊(固有名)

現住所 氏名

- 一、死亡者本籍地
- 二、留守遺族者の住所

右の通り相違ないことを証明する

昭和二十一年 月 日

明命

奉勅撰

魏佐所

右二同正

後身如多

子天下

新正御書奉勅撰(正)正御書奉勅撰

魏佐所(正)正御書奉勅撰

正御書奉勅撰

正御書奉勅撰

魏佐所(正)正御書奉勅撰

魏佐所(正)正御書奉勅撰

魏佐所(正)正御書奉勅撰

魏佐所(正)正御書奉勅撰

魏佐所(正)正御書奉勅撰

魏佐所(正)正御書奉勅撰

魏佐所

魏佐所(正)正御書奉勅撰

魏佐所(正)正御書奉勅撰

魏佐所(正)正御書奉勅撰

魏佐所(正)正御書奉勅撰

魏佐所(正)正御書奉勅撰

魏佐所(正)正御書奉勅撰

魏佐所(正)正御書奉勅撰



戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名義柄 戸主 氏名

氏名

年

月

日生

二、所属 國軍 陸軍 第... 師 第... 旅 第... 隊

派遣 戦地 第五師団 部隊

三、戦死者徵集年 昭和... 年 役種 現役 兵種 歩兵 死亡前官 陸軍 少佐 昭和... 年... 月... 日

四、戦死年月日時刻及場所 昭和... 年... 月... 日... 時... 分... 秒... 場所...

五、戦死現認ノ程度 戦死現認ノ程度...

六、遺骨歸還ノ有無 有

七、戦死當時ノ状況ノ概要 戦死當時ノ状況ノ概要...

八、死亡區分 戦死 事由... 發病年月日 昭和... 年... 月... 日

九、其ノ他 (上掲ノ事項ニ記載セザル事項ハ、別紙ニ記載スルコトヲ要ス) 申立書ニ添付スル年月日及上掲地

一〇、遺族ノ現住所

戦死者トノ親類 母

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和... 年... 月... 日

證明者住所

戦死者トノ關係

所屬部隊名

第五師団 部隊 隊本部 兵種 歩兵 官等 陸軍 伍長

氏名

市町村長證明箇所

見... 昭和... 年... 月... 日

昭和... 年... 月... 日

39-10

印

第100飛行隊
威九三三
昭和十八年
現役

父

死者略歴

昭和十八年六月十八日
昭和十八年六月十八日
昭和十八年六月十八日

昭和十八年六月十八日
昭和十八年六月十八日
昭和十八年六月十八日

昭和十八年六月十八日
昭和十八年六月十八日
昭和十八年六月十八日

昭和十八年六月十八日
昭和十八年六月十八日
昭和十八年六月十八日

死 亡 認 定

昭和十八年六月十八日

昭和十八年六月十八日

昭和十八年六月十八日

昭和十八年六月十八日

昭和十八年六月十八日

昭和十八年六月十八日

昭和十八年六月十八日

昭和十八年六月十八日

昭和十六年六月十五日
米軍五二五飛行場占領

六月十七日 鹿千走待避地
六月十八日 朝島隊本隊ハ

同時刻 同敵艦ハ 待避地ハ

死亡認定ノ理由 一家屋中
一隊ヲ発見、攻撃セシメ、ハ如シ

右之通り認定ス 確度内
（馬場、小川）

所屬部隊 第一五〇飛行場大隊

備方 官等氏名印 見習士官

判明セル所 成ルベク詳シク記載セラル度ク

死亡認定ノ理由ニハ其 確度（例ヘバ昭和十九年十月二日甲）ヲ示サレ度
甲 確實ナルモノ
乙 記憶ウシキモノ
丙 他人ヨリキカモノ

現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日

地方世話部

所 属 部 隊 固 有 名 船橋三上連隊

通 稱 號 曉一九七七回

年 集 隊 役 兵 前 官 前 亡 死 後 亡 死

名 氏 生 年 月 日

死 亡 年 月 日 時 分 昭和二十年六月十八日 午後 時 分

死 亡 場 所 ルソン島

死 亡 區 分

傷 病 名

重(後)病(傷)年月日 昭和 年 月 日

推士官以上 任官年月日

死 亡 時

昭和二十年六月十八日

死 亡 時 況

ルソン島

遺 留 品 有 無

右 證 明 候 也

昭和 年 月 日

所 属 部 隊 船橋三上連隊
現 在 所 陸軍長官
官 等 職 氏 名 印

證 明 者

地方世話部長

殿

本籍地
留連者

父

現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日

地方世話部長

所 属 部 隊 固 有 名 船 船 工 兵 第 三 工 車 隊 通 稱 號

曉一九七七四

年 集 団 種 役 現 役 種 兵 船 船 級 等 官 前 任 死 後 亡 死

名 氏 生 年 月 日

死 亡 年 月 日 時 分 昭 和 20 年 6 月 18 日 午 後 時 分

死 亡 場 所

ルソン島 オソク

死 亡 區 分

戦死

傷 病 名

發(受)病(傷)年 月 日 昭 和 年 月 日

准士官以上
任官年月日

者 死 亡 時

の 狀 況

昭和三十二年六月十八日
ルソン島 オソク
戦死

遺 留 品 骨 有 無

右 證 明 候 也

昭和 年 月 日

所 属 部 隊 船 船 工 兵 第 三 工 車 隊

現 住 所

官等職氏名印

地方世話部長

署 明 証

殿

44-10

現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日
地方世話部

| | | | | | |
|-------------|---|-------|----------|-------|---------|
| 所 属 部 隊 | | 固有 名 | | 通 稱 號 | |
| 修船工兵第三十三隊 | | | | | |
| 年 集 隊 | 種 役 | 種 兵 | 官 等 | 官 前 | 死 亡 死 後 |
| 死亡年月日時 | 昭和 20 年 6 月 18 日 午後 時 分 | 死亡場所 | ルソン島ボソボソ | 氏 名 | 生年月日 |
| 死亡區分 | 戦死 | 傷 病 名 | | 任官年月日 | 以上 |
| 發(受)病(傷)年月日 | 昭和 年 月 日 | 遺 留 品 | 有 無 | 遺 骨 | 有 無 |
| 死 亡 時 況 | 昭和 20 年 5 月 1 日修船工兵第三十三隊の
猪俣中尉に於て同年 5 月 1 日ルソン島ボソ
ボソに於て戦死 | | | | |

右 証 明 候 也

昭和 年 月 日

所 属 部 隊 修船工兵第三十三隊
現 住 所
官 等 級 氏 名 印

地方世話部長

殿

45-10

本署代
領如素者

地方世話部

曉
一九七七四

遺留品の有無

昭和、年 月 日

証 明 者

地方世話部長

所屬部賦
現任所
官等級氏名印

殷

生於地
死於土

地方世話部

船舶工友第三支隊

曉夢一六七四

生

死亡場所

ルンズボク

日

世
疾
名

昭和
年
月
日

准士官以上
任官年月日

死 亡 時 況

昭和三年六月十八日ルソン島に於て斬いの際戦死

道 遺 道
骨 品 有
無

右證明候也

昭和
23
年
5
月
12
日

所屬部餘
現住所
官等級氏名印

地方世話部長

殿

55-10

昭和二十年六月八日

父

現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日

地方世話部

所 屬 部 隊 固 有 名 昭 船 工 兵 第 三 連 隊

通 稱 姓

曉 一 九 二 七 四

年 集 団

現 役

現 役

兵

船 舶

級 等 官

前 亡 死

工 兵

後 亡 死

氏 名

生 年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

死 亡 年 月 日 時 分

昭 和 二 十 年 六 月 八 日 午 後 八 時 分

死 亡 場 所

ル ン 島 ボ ン

死 亡 場 所

ル ン 島 ボ ン

死 亡 場 所

ル ン 島 ボ ン

死 亡 場 所

ル ン 島 ボ ン

死 亡 場 所

死 亡 區 分

戦 死

死 亡 區 分

死 亡 區 分

死 亡 區 分

死 亡 區 分

死 亡 區 分

死 亡 區 分

死 亡 區 分

死 亡 區 分

死 亡 區 分

死 亡 區 分

死 亡 時 間

昭 和 二 十 年 六 月 八 日 午 後 八 時 分

死 亡 時 間

死 亡 時 間

死 亡 時 間

死 亡 時 間

死 亡 時 間

死 亡 時 間

死 亡 時 間

死 亡 時 間

死 亡 時 間

死 亡 時 間

死 亡 時 刻

昭 和 二 十 年 六 月 八 日 午 後 八 時 分

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

昭 和 二 十 年 六 月 八 日 午 後 八 時 分

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

昭 和 二 十 年 六 月 八 日 午 後 八 時 分

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

昭 和 二 十 年 六 月 八 日 午 後 八 時 分

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

昭 和 二 十 年 六 月 八 日 午 後 八 時 分

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

昭 和 二 十 年 六 月 八 日 午 後 八 時 分

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

昭 和 二 十 年 六 月 八 日 午 後 八 時 分

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

昭 和 二 十 年 六 月 八 日 午 後 八 時 分

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

昭 和 二 十 年 六 月 八 日 午 後 八 時 分

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

昭 和 二 十 年 六 月 八 日 午 後 八 時 分

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

昭 和 二 十 年 六 月 八 日 午 後 八 時 分

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

死 亡 時 刻

地方世話部長

殿

所 屬 部 隊 昭 船 工 兵 第 三 連 隊
現 住 所 陸 軍 兵 隊
官 等 級 氏 名 印

父

昭和二年一月一日

通方世略部

通稱號

曉
凡
二
四

名

生年男品

附錄

Prima

死亡場所

ルン島ボノボ

英

癰疽名

任
宣
統
年
月
日

昭和十年六月十八日 片岡 勲

我丁也

遺留品 遺失物 の有無

右證明候也

昭和
年
月
日

所屬部隊 船組土佐五十五連隊

官等職氏名印

陸軍兵長

地方世話部長

張

北平軍政府秘書長張作霖

[illegible]

五月廿五日、球傷入院、護送上場、病院服出
工を中止し、上場、護送中、重傷

第二卷
土等兵
王の令に依りて戦死

[illegible]

同大永第三中表

取陳列官多則地有(僱員時)

卷之九

地方世話部

現認證明書

地方世話部

死

亡

者

死に當る時の状況

死者の係属と死

所屬部隊

比島派遣隊

威

一〇六九三

本籍地

徵集

役

予備兵

兵

歩兵

死亡階級

曹長

死亡階級

後級

名氏

死亡年月日時

昭和二十年六月十八日午前

分

死亡場所

比島モンタルバン地区

死亡事由

敵砲撃被害

級別

甲男

死亡區分

比島モンタルバン地区

死亡事由

敵砲撃被害

級別

甲男

留守宅住所氏名

比島モンタルバン地区

死亡事由

敵砲撃被害

級別

甲男

比島モンタルバン地区

死亡事由

敵砲撃被害

級別

甲男

甲男

甲男

甲男

甲男

比島モンタルバン地区

死亡事由

敵砲撃被害

級別

甲男

甲男

甲男

甲男

甲男

比島モンタルバン地区

死亡事由

敵砲撃被害

級別

甲男

甲男

甲男

甲男

甲男

比島モンタルバン地区

死亡事由

敵砲撃被害

級別

甲男

甲男

甲男

甲男

甲男

比島モンタルバン地区

死亡事由

敵砲撃被害

級別

甲男

甲男

甲男

甲男

甲男

比島モンタルバン地区

死亡事由

敵砲撃被害

級別

甲男

甲男

甲男

甲男

甲男

比島モンタルバン地区

死亡事由

敵砲撃被害

級別

甲男

甲男

昭和二十一年 月 日

地方世話部 死亡者 認定査票

所屬部隊名 固有姓名 独歩大土隊 通稱名

本籍地

年 昭 心 種 役 現 兵 歩

級等官 前亡地

後亡死

死亡場所

死亡場所

死亡場所

死亡場所

死亡場所

死亡場所

死亡場所

死亡場所

死亡年月日時

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

死亡原因

45-11

[illegible]

昭和二十五年一月十七日

總兵 比島 渡邊 威重 三 四 部隊
 死に 者 七 南 保 同 却 吸 吸 長 八 吸 吸 時 有
 氏 名 所 示 上 等 兵 一 隊 余

確認状

本籍地

部隊名

比島派遣隊第二八四二四部隊本部

陸軍軍曹

右者昭和三年六月十九日十七時頃ルソン島カハヤン地区カ戦斗に於
て敵陣カ為戦死セシ事ヲ確認ス

昭和三年五月二日

本籍地

現住所

右同

比島派遣隊第二八四二四部隊本部

陸軍軍曹長

死亡者現認證明書

所屬部隊固有名 第十一航空情報隊 一三三 或一八九六部隊

本籍地

徵召和役

二補

戰要長

一

年 月 日

人

死年月日時刻 昭和三年六月九日 時 分 死場所 比島名案島イ木

死七區分 戰死 腹部貫通銃創

發還病遺年 昭和 年 月 日

現住所

留航公第522號 昭和二年九月十三日

續柄 氏名

遺骨遺留品の有無 十二 遺灰示談の有無 十二

所屬部隊固有名 第十一航空情報隊 一三三 或一八九六部隊

官等 級 陸軍少長 一

上陸年月日 昭和 年 月 日 港

現住所

昭和二十二年 11月 26日

(第 888 號)

民生部第一世係課

死亡者調査表

昭和二十二年 11月 26日 調製

省製調

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 課 | 長 | 係 | 長 | 課 | 定 | 本 | 部 | 隊 | 公 | 報 | 遺 | 背 |
| <div>整理番號</div> <div>所屬部隊固有番號</div> <div>年集徴</div> <div>水籍地</div> <div>留守現住所</div> <div>遺言者続柄氏名</div> <div>死亡年月日時</div> <div>死亡區分</div> <div>死亡直前の職務</div> <div>資料入手の経緯</div> <div>右現認す</div> <div>現住所</div> <div>認所屬部隊</div> <div>番官等</div> <div>氏名印</div> <div>職記要名者亡死</div> <div>號番付受付遺</div> <div>號番報公</div> <div>未歸還肩</div> <div>無</div> <div>小第</div> <div>411</div> <div>號</div> | | | | | | | | | | | | |

○本表中央の欄以外は第一世係課にて記入すること
○記載上の注意並に履歴欄は裏面にあり(記載上の注意をよく読んでから記入の事)
○不備事項中判明しあるものは各班にて未済すること

戰死證明書

5-11

一、戰死者本籍地

戸主名 続柄 戸主

氏名

年 月 日生

二、所屬

比島

派遣 鎮 第五四七部隊

三、戰死者役年 年 至 役種 役 兵種 兵 死亡前官等 陸軍 少佐 陽和三年一月十日

四、戰死年月日時刻及場所

陽和三年一月十九日

五、戰死現患ノ程度

戦死 (死体発見)

六、遺骨歸還ノ有無

無

七、戦死當時ノ状況

陽和三年一月十九日、比島、第五四七部隊、戦死。戦死後、遺体は発見され、戦死と認定された。

八、死亡區分

戦死 (戦死と認定された)

九、其ノ他

戦死と認定された。戦死と認定された。

一〇、遺族ノ現住所

戦死者ノ続柄

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

陽和三年 一月 日

證明者住所

戦死者ノ關係者

所屬部隊名

比島 第五四七部隊

兵種 兵 官等 陸軍 少佐

氏名

市町村長證明箇所

比島 第五四七部隊 戦死と認定された。

陽和三年一月十九日

印

戦死証明書

陸北明有

一、戦死者本籍地

戸主名 横井 戸主

氏名

年 月 日生

二、所属 昭和 年 月 日 派遣 隊 第 部隊 中 隊

三、戦死者召集年 昭和 年 役種 親 兵種 歩兵 死亡前官等 陸軍 大 昭和 年 月 日

四、戦死年月日時刻及場所 昭和 年 月 日 午前 時 分 午後 時 分 場所

五、戦死現認ノ程度 戦死現認ノ程度

六、遺骨歸還ノ有無 遺骨歸還ノ有無

七、戦死當時ノ状況ノ概要 戦死當時ノ状況ノ概要

八、死亡区分 戦病死 事由 戦病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他 戦死者ノ戦死年月日 戦死者ノ戦死年月日

遺族ノ現住所

戦死者ノ戦死年月日

氏名

右ノ通り戦死ヲラシタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

證明者住所

戦死者ノ関係

所属 部隊名

兵種 歩兵 官等 陸軍 大

氏名

市町村長證明印

印

戰死證明書

一、毆死者本籍地

戶主名續柄 戶主

志氏

年 月 日生

105-11

二、所屬通稱部除名

步兵第六十三聯隊本部
比島派遣鐵第五四七部隊

三、戰死者徵集年 月 日 役種 現役 兵種 步兵 死亡前官等級 陸軍 大佐 在官等級 年 月 日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十年六月十九日 白 宋ハムバリスカヤ洲ビルク

五、戰死、現認ノ程度 確認 甲

六、重骨歸還，有無 **遺骨十二**

七、戰死當時之狀況、概要

解部が昭和二十三年五月十四日眞満山に発せし
マタリヤ二再発加フルニ空腹ニ依リ歩行困難トナリ

八、死亡區分 **疾病死** 事由 **マヨイ** 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其他（上陸地及び死亡者數、普立、國領、中立、及不明等）

10、遺族、現住所

戰死者ト、額柄、主命、

氏名

右ノ通り戰死セラレタルユトテ證明候也

昭和二十二年 月 日

證明者住所

戦死者との関係

所属部隊名

步兵第六十三聯隊本部

氏名

市町村長證明箇所

三

野矢雄記 皇軍中隊

貿易事務局航空課下

所第1532部隊

陸軍技術部員

三三航空隊分隊

一 手籍地

一 現任所 右同

一 戰死

昭和二十年六月二日 (腹部貫通銃傷)

一 戰死

中部(二)工事(北)方ニテ 並名部等

新歴概要

一 昭和十九年三月十日 陸軍航空隊本部採用 同部隊事務員補令

一 昭和十九年三月二十日 陸軍航空隊本部採用 同部隊事務員補令

一 昭和十九年三月二十日 陸軍航空隊本部採用 同部隊事務員補令

一 昭和二十年一月一日 指揮官補令

右 本門 井修之 小生同隊 同班勤務員(二)

7-11

戰天前一回由前道行進者、其致し居りたる處、其後
 ドリラト交戦、戰死、倭報ニ接し、ヨリテ師報告申之候
 直ニ申渡り、其下ニ遺骨ハ遺棄、師渡シ致し、
 置候間、其後、師手配り、疾ニ師報告申候。

報告者

(元) マミラ航進、敵方ニ分敵、陸軍中將、師団長

現任所

戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所屬部隊名(通稱號) 水四飛行師團水九航空情報隊(比島派遣隊八四八五部隊)
- 一、徵集年 昭和十八年 役種 水三補充兵校兵種 航空通信兵
- 一、官 等(死歿前) 陸軍中尉 (死歿後) 陸軍中尉
- 一、氏 名 [Redacted] 年 [Redacted] 月 [Redacted] 日生
- 一、死歿場所 比島ネグロス島 バゴド基地
- 一、死亡區分位ニ事由 左大股部及左肺、敵陣へ侵入し出血多量、為戦死ス
- 一、死歿年月日時 昭和二十年 六月二十日 午前九時
- 一、死歿者本籍地留守遺属者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和二十二年 三月 十日

元所屬部隊水九航空情報隊(比島派遣隊八四八五部隊)

現住所 [Redacted]

元官等級 陸軍中尉

氏名印 [Redacted]

(註) 死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ、生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクワシクオ知ラセ下サイ。

宛先 [Redacted]

地方世話部認定係 [Redacted]

16-13

1281

| | | | | |
|---------------------|---------|------|--|------------|
| (通) | | 隊部属所 | | 戰時死亡者現認證明書 |
| (回) | | | | |
| 昭和20年6月20日 | 年月日時分 | 死 | | |
| 比島
ネグロス中
ヒライ山 | 場所 | | | |
| 戦死 | 原因 | | | |
| 市役所長
石澤集平 | 事由 | 亡 | | |
| 号レ | (留置) 骨遺 | | | |
| 一ノ瀬 飛兵衛 | 種其、種役 | | | |
| 陸軍一等兵 | 前亡死 | 官籍類 | | |
| 陸軍上等兵 | 後亡死 | | | |
| [Redacted] | 氏名 | | | |
| [Redacted] | 住所 | | | |
| [Redacted] | 担当有現住 | | | |
| [Redacted] | 名前 | | | |

現住所

所属部隊番号 五〇四一中隊

官弄親代名

陸軍伍長

調製上，注意

一所原郡縣之通林固有所跡名ヲ王判明程度ニ記入ノコト
ニ死亡欄ハ出生欄ノ限リ詳細ニ坂ニ事由ハ傷病名乃上陸地支司ニ於テ連
供ヒ記シタルコト
已進傷ノ遺留品ニ櫛ハ「阿蘇」月ル象牙ハ何家ニアリヤ「現地ニ性定支司
四股印ヲ施シタルコト

所屬部隊

三ノ防衛

斷

死後

上上

日坐

一、設櫃
二、櫃
三、年
四、次

二補生

一
死
年
月
日

形和式拾年
九月六日
以島儿之
タルヲ

九月
タルラツク

死
亡
區

一
瓶
死

死生事大

北武勝年式月改日改子為辰同子丑日
金均同子丑式拾五日再會同子丑日

卷之九

貳
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

天
地
人
三
才

上族聚在戶結極代白

右相邊無忌

證明

昭和
年

現住所

三十八

所屬部隊

三
平
律

現認省官等姓名

應運而生

18-711



1283

状況不明者の資料届

本籍地

所属部隊固有

建築勤務第三七中隊

通称号

戦力四八二九部隊

平昔

昭和二十年六月二十日セブ島に於て転進中サニクユリにて敵の小銃弾により胸部貫通銃創にて戦死す

遺骨不明

遺留先あり

戦力四八二九部隊

役長



現認證明書

陸軍

一 死没者所属部隊名 第十四方面軍 威一六〇〇部隊

一 官等 死之前 陸軍一等兵

一 氏名 [Redacted]

一 死亡区分 我死

一 傷痕名 爆彈破片創

一 死亡年月日 昭和二十年六月二十日午後十時

一 昭和二十年六月二十日比島十八号附近に戦死に

於て戦死せるを確認す

右現認證明す

昭和二十年一月三十日

現認者 威一六〇〇部隊

陸軍 [Redacted]

地方世話部

特設自動車班中隊(四五六)

大川静

| 現
載
上
注
意 | 死 | | 亡 | | 省 | | 現 | |
|-----------------------|------------------|-------|-----|-------------|------|------------------|-----|--------|
| | 所屬部隊名 | 官等級氏名 | 本籍地 | 死亡年月日 | 死亡区分 | 死亡場所 | 傷病名 | 運送遺体状況 |
| 現
載
上
注
意 | 威第。六八。部隊 (師団司令部) | 佐々上守兵 | | 昭和二十年三月二十日頃 | 戦死 | 北部ルンギヤンガニ (イフラオ) | 傷病名 | 不詳 |
| | 元第六八。部隊 (師団司令部) | 陸軍中尉 | | | | | | |



6月
11日
調製

公報：番號

第七十九

17-84

戸主名發柄 戸主本

氏名

年 月 日生

二、所屬

二、戰死者徵集年 年 役種 役兵種 多兵死亡前官等級陸軍 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所，陸二〇七二〇，一二二號

五、戰死現認ノ程度整理（記作確認）

六、遺骨歸還、有無不明

七、戰死當時，狀況，概要 瀧澤地、龍平二橋、赤坂、五軍、越進、守令。

八、死亡區分 戰死 事由 陣亡 發病年月日 昭和 年 月 日

其 他
井上清太郎ニ於テハ元ノ主君ヲ依リテ立シメ、
部不廢爲整理班、(不明別記入)

申立濟ナレバ上陸年月日及上陸處

10、遺族、現住所

戰死者 下 遺骸

此知

右ノ通り戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二年

證明者住所

戰死者との關係

所屬部隊名

兵種 步兵 官等級陸軍

氏名

市町村長證明箇所

為盡明人

癸亥十一月廿一日

四

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名 戸主

氏名

年 月 日生

122-10

二、所属部隊名 派遣部隊 第三〇二部隊

三、戦死者徵集年 昭和十三年 役種 兵種 兵 死亡前官等 陸軍 年 月 日 昭和 年 月 日

四、戦死年月日時刻及場所 昭和十三年六月二十日 岐阜県岐阜市

五、戦死現認ノ程度 他言(死体発見)

六、遺骨歸還ノ有無 ナシ

七、戦死當時ノ状況ノ概要 戦死

八、死亡区分 戦死 事由 胸中銃創 発病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他 (上陸地ニ於テ死亡シタル者ニ限リ、内立方ノ部隊長等ニ由リ、申立書ヲ提出シ、上陸年月日及上陸地ヲ記載スルハ、遺体発見者又ハ不問何人入部) 申立書ノ提出年月日及上陸地

一〇、遺族ノ現住所

戦死者トノ親類者

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和十三年 月 日

證明者住所

戦死者トノ關係者

所属部隊名 比叟派遣隊 第一二〇部隊

兵種 衛生 官等 陸軍 階級

氏名

市町村長證明箇所

右相違ナシニ證明す

昭和十三年三月十四日

印

11-951

年 月 日

15

死三現認(確認)證明書

本籍地

所屬部隊番号及番付
昭和三十年六月二十日

一 死亡年月日時
昭和三十年六月二十日

一 死亡場所
呂宋島三三東北方五ノタルバン

一 死亡原因
戦死

一 傷(病)名
頭部銃弾破片創

一 遺骨(遺物)の有無
有

一 死亡當時の状況
一歩方面前進中敵軍一集中砲火を受け戦死

右現認(確認)中

昭和三十年一月二十日

現認者
所屬部隊番号
氏名
職名
印

本籍地

新廣部隊

死亡現狀(確証)證明書

一 死亡年月日時

昭和二十年六月二十日 時 分

一 死亡場所 在 島ノミラ東北方モタルバン

一 死亡原因 戦死

一 傷(病)名 胸部連弾破片創

一 遺骨(遺物) 有

一 状況

一 死亡當時状況

イ 所在方面 島ノミラ中半車 集中砲火ヲ受テ戦死

右現狀(確証)寸

昭和二十年一月二十日

新廣部隊

新廣部隊

新廣部隊

新廣部隊

新廣部隊

新廣部隊

新廣部隊

新廣部隊

新廣部隊

新廣部隊

新廣部隊

新廣部隊

新廣部隊

新廣部隊

新廣部隊

昭和二十一年

著者

ਸ੍ਰੀ ਗੁਰੂ ਗ੍ਰੰਥ ਸਾਹਿਬ ਜੀ

水 陸 軍

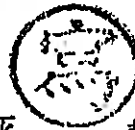
·現生座

死後者ととの關係 **中條下主官**

所 屬 部 茲

元職官氏名印

1. 嫌疑は甲(被害)、乙(被疑者)、丙(疑はしきもの)の區分で記入する。
2. 死に事由欄には何々(交通事故、或は「アタリア」・「チグズ」等の病名)を記入する。
3. 死殺者との關係は中、小隊長、分隊長、戦友等記入する。



書 明 証 認 現 確 亡 死

邦・海・陸

寫前記載上の注意を記しておいて下さい。(※及び裏面の各欄は記載に及びません)

| | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|--------------------|-----------------------|----------------------------|------------------|------------------|------------------|----------------|----------------|------------|--------------|----------------------------------|--|
| <p>資 料 提 供 者
死 亡 証 明 方 法</p> | <p>死 亡 者</p> | | | | | | | | | | <p>死 亡 者</p> | |
| <p>目録に班長の
報告を以て確認</p> | <p>遺留品の処
理</p> | <p>遺骨及び遺
骸の処理</p> | <p>元 死 亡 事 由
(傷病名)</p> | <p>諸 死 亡 場 所</p> | <p>亡 死 亡 日 時</p> | <p>死 亡 区 分 ※</p> | <p>発 病 場 所</p> | <p>発 病 時 期</p> | <p>区 分</p> | <p>本 籍 地</p> | <p>開 戦 時 の 住 所
(在 留 地)</p> | |
| <p>係 関 の と 者 亡 死</p> | <p>死 亡 者 資 料</p> | | | | | | | | | | <p>所 属 (所 轄)
部 隊 又 は 職 名</p> | |
| <p>所 住 現</p> | <p>死 亡 者 資 料</p> | | | | | | | | | | <p>所 属 (所 轄)
部 隊 又 は 職 名</p> | |
| <p>所 住 現</p> | <p>死 亡 者 資 料</p> | | | | | | | | | | <p>所 属 (所 轄)
部 隊 又 は 職 名</p> | |

現認證明書

北野永義第一三二部隊

陸軍上等兵

右者昭和七年十月一日北野永義第一三二部隊に於て腹部負傷、創より戦死（戦病死）と見込まれ現認ス

昭和七年十月一日

現認者元北野永義第一三二部隊 陸軍 伍長

現住所

氏名

6-14

1342

右現認す

昭和十一年一月十五日

現住所

所属部隊

官階氏名 陸軍中將 長

上陸地名
島古屋

上陸地支局に於て廻轉機や否や

上
月
日
賜
和
王
事
上
月
日

117

● 上の注意

- 一、用服料付運送品有被服品をも失物科別に記入のこと
二、死亡證は出来得る限り葬柩に特に奉山、病告、發病、急入院年月日、入院病歴名及其の後考査科等併せて記入のこと、(阻本多量場合は附葬柩付記入のことと)
三、掛付(被服品)欄は有無有る場合は何處にありや(親戚、上機地支局、留守宅等)記入のこと
四、圖印を忘れぬこと
五、前一人に對し二部圖表のこと

1298

[illegible]

昭和二十一年一月十五日

現住所
所屬部隊

官等級氏名
上陸地名
上陸地支局に於て運送費を否や

上陸月日 昭和五年十一月廿一日

一 戸籍部は通籍所有者姓名をその通籍國境に記入のこと
二 元亡者は出生時を限り詳確に特に事項を、姓名、生期（生後）入籍年月日入籍籍名及其の他事項を詳確に記入のこと、四處多き場合は附屬添付記入のこと
三 最前（送別品）欄は有無の場合は何處にありや（現地、上田地支局、留守宅等）記入のこと
四 無印を忘れぬこと
五 同一人に對し二部調査のこと

[illegible]

現認(事實)證明書

本籍地

所屬部隊 固有名(即第...年...月...日...)

従軍年昭和三十二年...月...日...兵種...

官等級(昭和...年...月...日...)

死亡年月日時分 昭和三十一年六月二十一日...

死亡原因及傷病名 (戦死) 右足脛骨折断、通銃創(膝下軟部損傷)

死亡場所 比島、赤松島、東松島、...

死亡状況 無二重、現認有、...

本人昭和三十一年六月二十一日印...

死前状況 死前、...

五、遺言及遺品の有無 本人、...

六、死亡に關する書類の有無 右記証...

右の通り相違ない事を證明する

昭和三十一年五月二十四日 元所屬部隊(固有名)...

(通稱名)...

現住所...

舊職官等氏名...

陸軍連隊...

一、死亡者本籍地

二、留守遺族者の生所姓氏名

右の通り相違ないことを證明する

昭和...年...月...日

縣...郡...市...

町...村...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

死亡場所

死亡年月日 昭和20年6月21日 午後8時

死亡區分表

受傷處所
兩肩並通飲創

癸卯年四月

卷之九

寶賢堂自製地仁螺蚌

右現認す

現觀華嚴死亡當時情沉細

二階級付は、死亡前を記入する。

西と記入する

故人之虞保中敵長戰友等、虞保

一信不托一

| | |
|-----|-----|
| 九 | 部 |
| 通稱看 | 固有者 |
| 一 | 歩 |
| 二 | 三 |
| 三 | 四 |
| 四 | 五 |
| 五 | 六 |
| 六 | 七 |
| 七 | 八 |
| 八 | 九 |
| 九 | 十 |

本籍地

現住所
本籍地に同じ

天
一
田

15

82-1)

昭和十三年十一月二十日

所屬部隊



名
明
三
十
年
十
月
十
日

卷之四

事件を記入のこと

10

10

卷之四

11

12

1992

一

...

2000

100

[illegible]

①

右現認

所掘
值位
部
隊所

スミヲ防衛司令部

隆慶五年

詞韻上ノ注意

一、初、劉琨、八通林園有部、錄名、ノモ、訓所、用居ニ入、ノト
二、死亡欄ハ、馬來留リ、依リ將細々情、事由ハ傳、龍名ハ、陸地ニテ、於テ是將高リ、合口裏ハ他者未
資料弄併也、記入ノコト
三、選管ハ、董道、爲一欄ハ、ノ有、ノ合ハ、白鹿ニアリヤ、家懸上陸總支司、昭新名等、記入ノコト
四、認印ヲ忘レタコト

172-70

事實(現認)證明書

本籍地

現住地

所屬部隊 固右部隊名
通稱號名 マニラ在留邦人疎開團付

官等級氏名死亡前(陸軍軍属)

年 月 日生

右の者昭和二十年六月二十一日午 時 分比島又エウア

ウイスカヤ州バミボンに於て戦死(病傷名)したことを證明する

昭和二十二年 十月二十一日

所屬部隊 陸軍第四方面軍偵察隊

現住地

死亡者との關係 社友

(舊)職官等級氏名 軍属

29-11

⑤

現認(事實)証明書

本籍

部隊名 松歩五五大隊 陸軍中尉

一死之年月日 昭和三年六月二十二日

一死之場所 比島和ノドック道ニ西折向道

一死之正分 戦死

一當時状況 本人ハ砲弾ノ破片ヲ受テ西脚ヲマラレソノ上脚氣ニテ歩行

困難ナル処 兵ニ名ヲ後送途ニニ西折向道ニ山ニヨリ敵ノ一斉

射撃ヲ受ケ谷間ニ転落絶命セリ

右之通証明ス

昭和三年十月三十日

元松歩五五大隊 陸軍上等兵

印

陸

軍

死亡事實(現認)證明書

本籍地 [REDACTED]

現住所 本籍地ニ同シ

所屬部隊 歩兵三六三聯隊

徵集年 昭二五 官等級 陸軍伍長
氏名 [REDACTED]

右ノ者昭和二十五年八月二十五日 時
於 [REDACTED] 於 [REDACTED] 依リ戰傷
死亡シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和二十五年八月二十五日

所屬部隊 職名 師四七一部隊

官等級 陸軍曹長

氏名 [REDACTED]

注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等列明シアルモノハ詳記ス
二、職名ハ中、小隊長、砲手、操縦手等ト詳記ス

661-11

戰歿者確認證明書

一、死者所屬部隊名（通稱號）
一、二、三、支隊（第三〇三隊）

徵集年譜
役種除種
吳祖孫送

宣統(死後前) 長(死後後)

下氏 名
年
月
日生

死後場所 比叟 丁二 萬年 仙遊 仙遊 仙遊

死亡區分並三理由 救下交拜牛車天 勸部實房金金

昭和二十一年三月二十一日

死歿者本籍地留守撫當者

右確認（證明）ス

昭和二十二年五月十二日

元所屬部隊名 第一師團步兵隊

現住所

元官總級

氏
名
印

駐死に事由、場所等ハシクツシ、特に終戦後ニ死亡、明確ニ生死不明ニナウタ者、ソノ前後ヲ

クフシクオ知ラセ下サ

宛先

地方世話剖慰恤係

死者
一者
認明
定有
靈

昭烈二十一年
月
日
留
守
業
務
際

通解

· 冰 · 籍 · 地 ·

年集徵

租 役

極兵

報警官

前亡死

19. 2

後亡死

名氏

三

月

11

人

死亡年月日時

20
6
23
09

· 死亡場所

此與三才圖會之說同

死已四分

癰疽

名望差天調症（20.6.1.喉病）

守 留
者 當 將

31 42

栖 所

孝

| | |
|----|--|
| 氏名 | |
|----|--|

查此
定銀

右現認人

19

名海所見

遺骨ハ現地ニ埋葬ス、遺骨ナレ

此島派遣ミシゲ大軍兵隊バシマシ大軍兵隊

萬年史

⑤

停年名錄

スモーク
シ消滅

刊

決

官許
等
級議

印 檢 点

認
生
進
級
、
普
知
記
銘

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名続柄 戸主

氏名

日生

79-14

二、所属部隊名

比島派遣隊 第五四七部隊

三、戦死者役職

大尉 現役 兵種 歩兵 死亡前官等 陸軍 昭和 年 月 日

四、戦死年月日時

昭和二十六年六月二十三日 比島ラバウル半島

五、戦死原因

破砕死

六、遺骨歸還の有無

代骨飯塚

七、戦死当時状況

昭和二十六年六月十四日 比島ラバウル半島 出陣中
中マラリヤに罹り、腹に依るに疲弊を来し、遂に死亡す。

八、戦死区分

戦死 事由 疾病 昭和 年 月 日

九、其の他

（戦死者の遺族等） 申告年月日 及 上陸地

十、遺族の現住所

戦死者の続柄

氏名

右の通り戦死をラバウルに証明候也

昭和二十六年

証明者住所

戦死者との関係

所属部隊名

比島派遣隊 第五四七部隊

氏名

市町村長証明所

印

死亡確認書

| | | | | | |
|------------|--|------------|--|------------|--|
| 180 進行場大陽 | | | | 所部 | |
| 10649 部隊 | | | | 隊属 | |
| 中警現 | | 死後 | | 任官年 | |
| 隊備後 | | 死後 | | 任官年 | |
| () | | () | | 任官年 | |
| [REDACTED] | | | | 名 | |
| [REDACTED] | | | | [REDACTED] | |
| [REDACTED] | | | | 本籍 | |
| [REDACTED] | | | | 現住所 | |
| 父 | | 続柄氏名 | | 年 | |
| [REDACTED] | | [REDACTED] | | 月 | |
| 確度甲 | | 戦病 | | 日 | |
| 確度甲 | | 戦病 | | 場所 | |
| 確度甲 | | 戦病 | | 事由 | |
| 確度甲 | | 戦病 | | 遺留品 | |
| 確度甲 | | 戦病 | | 状況 | |
| 確度甲 | | 戦病 | | 遺骨 | |
| 確度甲 | | 戦病 | | 送附済 | |

右確認す
昭和三年六月五

昭和三年六月五日

所屬部隊
八軍行場六隊

死亡看關係同部
現住所
氏名

名

戦歿者確認(證明)書

一、死歿者所屬部隊名(通稱) 比島派遣隊 第八師団 第一旅団

一、戦没年 昭和二十三年 役種 歩兵

一、官等(死歿前) 陸軍中隊長(死歿後) 陸軍准尉

一、氏名 [Redacted] 年 月 日生

一、死歿場所 比島ルソン島イサダ島タクルト西方二軒の地裏

一、死亡原因 戦死 胸部を貫通銃創

一、死歿年月日時 昭和二十三年六月十五日(午後二時)

一、死歿者本籍地留守備置者 [Redacted]

右確認(證明)書

昭和 年 月 日

元所屬部隊 比島派遣隊第八師団第一旅団

居住所 [Redacted]

元官階級 [Redacted]

氏名印 [Redacted]

(註) 死亡事由、場所ハナルベクワシク特ニ詳述後ノ死亡ハ明確ニ、生死不明ニナラズ者ハツノ簡潔ヲワシク知ラセ下ヤイ

宛先 [Redacted]

地方世話部 認定係 [Redacted]

現認證明書

本籍地

所屬部隊

(通稱號)

徵集年昭十七

氏名

陸軍少佐

死亡年月日

昭和二十年六月二十五日

死亡場所

北島之ノナナ島中島附近森林中

死亡原因

戦死

死亡状況

戦死

右正に現認し

證明する

昭和二十年一月二十日

現認者

所屬部隊通稱號

現任所

旧職官等

元少佐陸軍任長

戦歿者確認(證明)書

- 一、死歿者所属部隊名(通稱) 武蔵第一五部隊
- 一、徴集年 昭九八 役 備 兵 補 方
- 一、官等(死歿前) 兵 卒 (死歿後)
- 一、氏 名 [Redacted]
- 一、死歿場所 [Redacted]
- 一、死亡区分並ニ事由 頭部重傷 戦死
- 一、死歿年月日時 昭和 20 年 6 月 28 日
- 一、死歿者本籍地留守備者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和 20 年 7 月 4 日 元所属部隊名 武蔵第一五部隊

現住所 [Redacted]
元官等 兵 卒
氏名 印 [Redacted]

註 死亡事由、場所ハナルベククワシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナツタ者ハソノ前後ヲクワシク告知ラセ下サイ

宛 先

世帯主 係

[illegible]

昭和二十二年

第

生部第二世師

死亡者調查表

昭和三十三年 7 月 7 日 納製

製器

131

通稱名 部 除

宋 檀

日景金(氏名)

年 月 日 生

昭和二十年六月五日午前七時

胸部更通氣

北島三幸十郎大佐が、この地を我が國に

中華民國二十九年

宋敬道

新嘉坡

卷之四

書經

57

元所屬部(國有名)係 皇國 皇國 皇國

咏竹

通雅名

氏名 畢 雲

[REDACTED]

2

[REDACTED]

事實證明書

親本 住籍地

同右
戦死確認者
(元陸軍上等兵)

親本 住籍地

同右
戦死確認者
(元陸軍上等兵)

右者昭和十九年三月十八日補充兵トシテ東北部
第二十九部隊(工兵第三聯隊第三中隊)入隊
同年五月七日獨立歩兵第三十旅團ニ動員下
令同年五月二十四日屯営出發 同年六月十八日
月二日門司港出航 同年六月十八日

昭和二十年六月二十六日

ニテ上陸 同年八月二十日第百師團工兵隊
(機一〇六二部隊 機一〇六三部隊) 部隊
部隊(部隊)ニ編入

昭和二十年六月二十六日十三時三十分北島
ミンタナオ島タバオ市タモガン 戦闘ニ
於テ敵砲彈、為(死体飛散)戦死ヲ遂ゲ
タルモノナリ

依ツテ右事實確認セル事證明ス

右
事實確認者

昭和二十二年一月二十六日

地方自治部

御中

53-11

76/

昭和三十一年一月一日
(第 一 号)

55-14

1821

22.10.18
受付

死亡原因 (戦死) 戦病死 重傷死

死亡理由 米軍ト交戦ニテ

傷病名

遺骨遺留
品、有無

無

功績等其要

死前所屬部隊

死前所屬部隊 全滅ニナリ 桐ノトミテ山中ニアリシモ 遺失隊

隊員トシテ奮戦中 東海岸 ラミラ井部 落 西方山中ニテ

米軍 討伐作戦ニ義勇トシテ戦死ス

死亡認定理由 (目撃者) 死体照査 他人ヨリ聴ク 其の他

右之通り認定ス

所屬部隊
現住所
官等氏名印

備考

判明ニ成ルベク詳シク記載セシレ度

死亡認定理由ニハ其確度(例ハ昭和十九年一月二日甲)ヲ示サレ度

早確定ナルモノ 記憶スルモノ 丙 他人ヨリ聴クモノ

第百師團 兵隊 運送中 據一〇六八三部隊

官澤原 死亡前 昭和廿二年四月一日 一善兵 死亡後 昭和廿二年四月一日 一善兵

一役種兵種五次

一死七年月日時

一死亡場所

一死亡原因

一死後の処置

一遺族の状況

一遺族の住所

昭和廿二年四月廿四日 理任所

昭和廿二年四月廿四日 理任所

所屬部隊 第百師團工兵隊

現認者 官等氏名 即 佐藤中尉

現認(事實)證明書



本籍地

所屬部隊(面有名) 東京陸軍病院 通稱名 長

徴集年 昭和二十一年 種別 戦役 兵種 歩兵

官等級 昭和三十二年十月十一日 氏名

年 月 日生

- 一、死亡年月日時分 昭和三十一年六月二七日 三時 分
- 二、死亡原因及傷害名 戦死(戦死) 戦死(戦死) 戦死(戦死)
- 三、死亡場所 所北之島北側(河内) 本方(都立)
- 四、死亡状況 戦死(戦死) 戦死(戦死) 戦死(戦死)
- 五、遺体及遺品の有無 遺体(遺体) 遺体(遺体) 遺体(遺体)
- 六、死亡に関する書類の有無 書類(書類) 書類(書類) 書類(書類)

右の通り相違ない事を証明する

昭和三十一年 月 日 元所屬部隊(面有名) 東京陸軍病院 (通稱名) 長

現住所

徴集官等氏名 東京陸軍病院

- 一、死亡者本籍地
- 二、留守地番者の住所(親氏名)

右の通り相違ないことを証明する

昭和三十一年 月 日

印

現 認 書

本籍地

部隊名 銃新隊

官等氏名 陸軍上等兵

死亡年月日

死亡場所

死亡区

死亡理由

右現認又

本籍地

部隊名 銃新隊

官等氏名

死亡事實(現認)證明書

本籍地

現住所 石川

所属部隊 一〇三飛大

徴集年 昭一五

官等級
氏名

右ノ者昭和二十年六月二十八日 時

分ミゲスニ於テ全月以下ニ依リ戦傷

病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和二十年九月十日

所属部隊 職名 法曹少佐

一〇三飛大 官等級

氏名

注意一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シタルモノハ詳記ス

一、職務の中、小隊長、班長、操縦手等ト詳記ス

(封入)

17-11

99-11

日生

- 四、死亡狀况
①因患肺病，于三月二十一日下午三时，在病中逝世。
②遗体由家属抬至殡仪馆火化。火化日期定于三月二十二日下午二时。

六、死亡に關する書類の有無

此詩係漢初（但）名詩毛（振）于（宣）控（塔）常（之）

(照牌印) 蘇州府志卷之五

舊職官等氏名列左 陸軍大將

1. 留守擔當者の住所

文圖文

10

[illegible]

○本表で漢印の體以外は第一世話録にて記入すること
○記載上の注意並に版牒柄は裏面にあり（記載上の注意をよく讀んでから記入の事）
○不備事項中判明しあるものは各班にて朱書すること

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名綴柄

戸主

氏名

年 月 日生

二、所屬部隊名

比

派遣

三、戦死者徵集年

大正

年

役種

兵

死に前官等

陸軍

昭和

年

月

日

四、戦死年月時刻及場所

五、戦死現認ノ程度

六、遺骨歸還ノ有無

七、戦死當時ノ状況ノ概要

八、死ニ區分

九、其ノ他

一〇、遺族ノ現住所

戦死者ノ遺柄

氏名

右ノ通り戦死シラシタルコトヲ證明候也

昭和

年

月

日

證明者住所

戦死者ノ關係

所屬部隊名

兵種

氏名

市町村長證明箇所

印

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戸主名 続柄 戸主

氏名

年 月 日生

二、所属 所属部隊名

派遣

部隊

隊

三、戦死者徴集年 大 年 役種

役

兵種

歩兵

死に前官等

陸軍

昭和

年

月

日

四、戦死年月日時刻及場所

昭和

年

月

日

時

分

秒

場所

五、戦死現認ノ程度

死

体

認

明

認

明

認

明

六、遺骨歸還ノ有無

有

無

有

無

有

無

有

無

七、戦死當時ノ状況ノ概要

戦死

時

況

概

要

要

要

要

八、死亡区分 戦死

事由

戦死

事由

戦死

事由

戦死

事由

戦死

事由

戦死

事由

九、其ノ他

上陸

死

死

死

死

死

死

死

死

死

死

死

死

③ 遺族ノ現住所

戦死者ノ続柄

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

證明者住所

戦死者ノ關係

所属部隊名

兵種

官等

陸軍

氏名

市町村長證明箇所

印

07-1551

乙卯年

氏名

年 月 日生

附錄

第二卷 第二十一回

座

三、戰死者徵集年 昭十九年 役種 補役 兵種 衛兵 死亡前官等級 陸軍 參 任官遺類 年 月 日 昭和九年 比 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二十一年六月二十日 岐阜市大井町

五、戰死現認ノ程度

六、道骨歸我，有無不

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 敷水岡 マチノ谷兼 杉病ニ下死

八、死亡區分 疾病死亡 事由 及 姓名 病名 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其、他（上野國等地方に於て死亡者死骸を依テ埋葬スルカガ、整理規定ス。又、不明持歸入班）申立済ナレバ上陸年月日及上陸地

京、遺族、現住所

戰死者卜、續柄 元

氏 名

右ノ通リ戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和三十一年二月二十日

證明者住所

戰死者卜、明保

所屬部隊名

兵種衛 官等級 陸軍 陸軍

氏 名

市町村長證明箇所

右証明候也。

日 一 月 一 年 一 日

死亡事實(現認)證明書

本籍地

現住所

所屬部隊 第一三五飛行場大隊

徵集年

官等級 陸軍一等兵
氏名

右ノ者昭和二十年六月二十九日 時

分ルン島ニ於テ軍務ニ依リ戦傷

病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和二十年四月二十五日

所屬部隊司令 職名

官等級 陸軍少尉

氏名

注一、死亡場所、受傷部位、病名等ハ別シアルモノハ詳細ニ
「遺名」中、小隊長、中隊長、班長等ト詳記ス

(新字八)

15-11

[illegible]

昭和三年六月十日調製

[illegible]

三
の
大

御書面拜見しました。復員業務の御世話誠に御苦勞様です。

78-12

威オ九一九八部隊

じて居るが、報告いたします。

親友で昭和十九年七月廿一日、共に神戸港を去航し（帝皇丸）八月十九日夜

バレー海峡に海没、各々救助されマニラ上陸。九月、ストゥチバーグ・クラーク・マイル

ド飛行場に於て、私と居る二名は三〇戦隊に転属し、同月廿一日アヘレス西

飛行場に機動。大いに元氣ではあつたが、当時多少の至衰弱のきみ

がありました。十月の末、戦隊はバニバン飛行場に機動しましたが、同もなく

盟廿年正月十日、三〇戦隊も他の三〇部隊と共にバニバンを発して北部呂

宋への逃避行。二十日の行軍に出発。

一月廿五日、北部呂宋サンチャゴに宿営中、以下オニ少隊

属。オニ少隊はツゲガラオ飛行場に向け出発。小生の居たオニ少隊のみ

エケヤード飛行場に止まるになりしました。と別れたのは即ちこの時で

す。

その後（廿年四月末頃）ツゲガラオより徒歩連絡があつて、以下多

く

その後(廿年四月末の頃)ワゲガラオより徒歩連絡があつて、
教台地より小湊に移動した事を知りおしたが、
以下多
いりて五月の末にワゲガラオの三三戦隊の残留者が全部エケヤーゲに引上げ
束ましたが、当時[]はワゲガラオにあつてマリアアが激しく、ワゲからエケヤーゲ
への行軍にたえられなかつたので、数名が部下に引かれマリアアと共にワゲガラオに
残されたまゝです。

六月に入つてからは日に日に状況悪化し十日以内に我々はエケヤーゲを脱出して、カ

残るながら姓名を知らせし。

ジャシ溪谷の山間へ入りました。そうして私は果成飛行隊本部に転属し、
したが三三戦隊はその令下にあつたので、内務の状況もよくわかつてゐるやう
と私の交渉はこれだけで済んでしまつた。

考へますのに、

[]はマリアアの行動がなくなつてゐる時に敵に唐突して戦死

をしたが、山に入つて戦病死したものが、いづれかであらうと思ふやうです。
即ち西親隊へは復員直後、右の状況を更に詳細に知らせしめ、おきました。
長く行動を共にした[]の事は、今も私の念頭を去りません。残念なるで

試験

のうゝにてとりいそがし、乱筆や汗をこ下す。

20-12

陽和二十二年五月十一日

現生所
所屬部隊

言等誤氏名元陸軍曹長

上陸地石名古屋
上陸地支局に於て惣務所を設け

調製上の注意

所屬部束は通非回有部等名生に別開程度に記入のこと
 二 五七欄に出来得る限り詳細に特に第四欄名差病(受傷)
 三 五八欄に出来得る限り詳細に特に第四欄名差病(受傷)

記入のこと
老病(受傷)入院年月日入院院名
付記のこと

[illegible]

死亡者現認證明書

昭和二十一年一月一日

所屬部隊固有公弟一航層報聯隊 遺孀 威一八九一大部隊

本籍地

徵集 昭和二十一年 種 二回 獎 考兵 級 下兵 冬 年 月 日 年

人

死亡年月日時時刻 昭和二十一年六月 日 午前 時 今死場所 比島 呂宋島 伊木

死亡原因 戰死 死 傷病名 腹部砲彈破片創

發(受)病傷在層 昭和二十一年 月 日

遺留 現住所

遺留 遺留品の有無

代名

遺留 遺留品の有無 十

所屬部隊固有公弟一航層報聯隊 遺孀 威一八九一大部隊

現認 遺孀 威一八九一大部隊

上陸年月日 昭和二十一年十一月三日 日 上陸場所 比島 呂宋島 伊木

遺孀 威一八九一大部隊

現認證明書

本籍地

所屬部隊

昭和二年六月三日

昭和二年六月三日

階級(死前)陸軍伍長

氏名

死亡年月日

昭和二年六月三日

時

分

死亡場所

カハヤン山中

死亡区分

傷(病)名

左足大退部負傷

遺骨(品)状況

死亡時状況

昭和二年六月一日、右ノ者ヲ連ル山中ニ歩行中、突如として困難に伴ひ、遂に一日頃、別水基右不明、右ノ後續部隊ノ言ハ依ル途、中自決せりと聞きたり

右現認ス

昭和二年六月三日

現認者

現任所

所屬部隊

階級

陸軍曹長

死亡事實(現認)証明書

本籍地

現住所 本籍地ニ同シ

所屬部隊

成田七二部隊

召集年

昭和一六

氏名

官等級 陸軍二等兵

有ノ者昭和二十年八月三日

時

於テ全隊ニ於テ突進中ニ依リ戦死

病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和二十一年十一月五日

所屬部隊

職名

成田七二部隊隊長

官等級

陸軍少佐

氏名

注意

- 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シアルモノハ詳記ス
- 一、職名ハ中、小隊長、砲手、操縦手等ト詳記ス

32-11

死亡事實(現認)證明書

本籍地

現住所

所屬部隊

野地部六八隊

徵集年

官等級

上等兵

右ノ者昭和ニ年六 月下旬日 時

分ルニ於テ修養隊ニ依リ戰傷
病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和ニ年ニ 月ニ日

所屬部隊

職名 野地部六八隊

官等級

氏名

- 注 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シアルモノハ詳記ス
二、職名ハ中、小隊長、砲手、操縦手等ト詳記ス

33-11

現認(事實)證明書

本籍地

所属部隊 固有名 第一〇三師団輜重隊 通稱名 坂一六九八

徴集年 昭和三十二年 役種 務 兵種 陸軍兵

官等級 昭和 年 月 日 氏名

上等兵

年 月 日生

- 一、死亡年月日時分 昭和三十一年六月二三日 時 分
- 二、死亡原因及備姓名 戦死
- 三、死亡場所 比島、レイテ島、西岸カンギボ、付近
- 四、死亡状況 不明

- 五、遺骨及遺留品の有無 ナシ
- 六、死亡に関する書類の有無 ナシ

右の通り相違ない事を証明する

昭和三十一年 五月二三日 元所属部隊(固有名) 第一〇三師団輜重隊 (通稱名) 坂一六九八 部隊

現住所

舊職官等氏名

- 一、死亡者本籍地
- 二、居住者住所 氏名

右の通り相違ないことを証明する

昭和三十一年 六月 二日

現認證明書

此係元威第三五部隊

陸軍一等兵

右者昭和三十年六月三日日ルソニ多由部山中於テ
マラヤ病ニ依リ戦病死セルコトヲ現認ス

昭和三十年一月八日

現認者元威第三五部隊

隊陸軍

階級
伍長

現住所

氏名



戦死不明者の記録簿

鉄道大隊

昭和二十一年六月

昭和二十一年六月

死亡の場所 正島市付近

戦死

死亡の場所

資料提供者

中隊長

二十一年六月

死亡現認書

一 元陸軍上等兵

右ニ関スル件

一 昭和二十年六月三十日アイランド群島ハ
島イサベ洲オスカリス西方山麓ニ於テ大腸炎
ニ依リ死亡ス

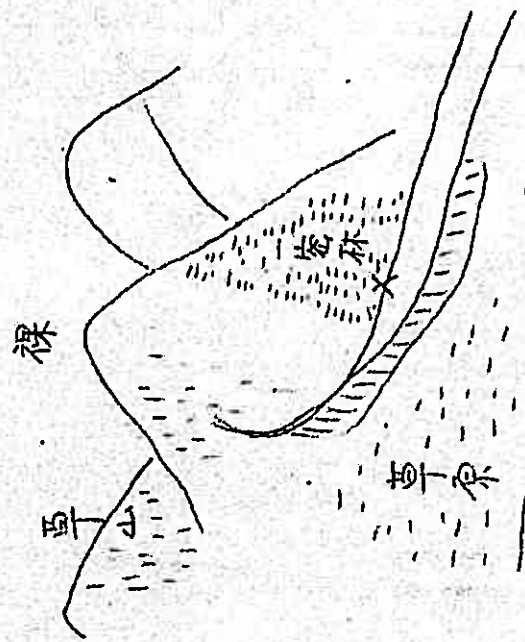
右現認ス

之第百三師団防疫給水部陸軍省

字

本寫、原本ニ相違無キコトヲ證明ス

昭和二十年六月八日



又印地長ニ於テ
自明ラ失リ同地ニ
シテ得テ不月
三ノ元云ト認ム

邦・海・陸

1349